
スーパーラジカルタイム 豪快DX!!

イヴ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

スーパーラジカルタイム 豪快DX！！

【Nコード】

N0083R

【作者名】

イヴ

【あらすじ】

【2011年9月28日、あらすじ内容更新】”ラジカルタイム”、当初はラジオ風にやる筈だった、カオスで常識なんて存在しない小説世界。登場人物達は、作者が勝手に妄想した設定でその扉を開き、意味不明な話を作る。NEW STORY ON YOUR HAND！！その手で、新たな物語を掴め！！（仮面ライダーフォーゼOPナレーション風に）

本作は「スーパーラジカルタイム！！」のリメイク後継作品です。内容は「スーパーラジカルタイム！！」に準じています。因みにタイトルの「スーパーラジカルタイム」の部分は、タトバ調で読んで下さい

原作一覧……仮面ライダーシリーズ、スーパー戦隊シリーズ、ポケットモンスター、デジモンシリーズ（以下、主にキャラのみ）GOD EATER BURST、戦国BASARAシリーズ、PSP 02i、C【Control】（随時更新予定）

分かる方もいるとは思いますが、パソコン版・携帯版でレイアウトが違います。見比べてみて下さい

雑談001 マーベラス、脱不憫計画（前書き）

【スツウツパァ ラジカルツ タイツム】

【レエエエエツツ、ゴオオオオオ！！】

雑談001 マーベラス、脱不憫計画

作者「今回よりリニユールした”スーパーラジカルタイム 豪快DX!!”を、応援お願いします!!」

一同『お願いします!!』

作者「さて、リニユール第1回はやっぱりカオスで意味不明な雑談です!!」

マーベラス「派手に行くぜっ!!」 ゴーカイガレオンの先端に立つとする

映司「マッ、マーベラス君!!先端って剣になってん」
グサリ

マーベラス「ギャアアアアアアアアアアアア!!」

ハカセ「ナビィ!!キャプテンを部屋に!!」

ナビィ『えらいこっちゃえらいこっちゃ!!』 マーベラスを引っ張る

マーベラス「……」 気絶している

ルカ「ああもうキャプテン……」 先端を拭く

アイム「キャプテンさん大丈夫でしょうか……」

ジョー「マーベラスなら大丈夫だろうきつと」

シャウト「マーベラス大変だな……」 マーベラスの服装で登場

映司「シャウト、またマーベラス君から剥いだの？」

シャウト「いやっ、知世子さんがくれた。それと作者が”今回から最低一年間はマーベラスコスで出る”ってさ……」

アंक「アハン」 相槌

映司「何たる相槌……？」

夏海「土君、私思っただんですけど……」

土「いいか夏ミカン？スーパー戦隊は今年で35周年を迎えていてゴレンジャーから毎年休まず放送していると思われているが、実はジャッカー電撃隊とバトルフィーバーJの間に2年と2カ月の休止があっただ」

海東「更に最近こそは入っているけど、ゴレンジャーとジャッカーの2作品はスーパー戦隊に含まれないとの逸話もあっただ」

夏海「別にそういう事ではなくて……」

土「それ以外に何がある夏ミカン？最近作者の出身中学で嘘だか何だか知らないが、風邪はともかくインフルで休んだだけで定期テス

ト受けさせないで0点とか聞いて今にも乗り込んで討ち入りしまいと
の勢いがある程、今の教育問題に異論ありまくりの作者の」

海東「それ以上言わないでくれ！！読者に不快な気分しか与えない
じゃないか！！」

夏海「ともかく……」

マーベラスさん、最近不憫な立ち回りが多くないですか？」

士「アイツの事が、ほうつておけ」

ユウスケ「それは無いと思うぞ士。お前とアイツは似た者同士じゃないかよ」

士「俺は気に入らねんだよ。戦隊版仮面ライダーディケイドとか
言われてるんだからよ。それに不憫なのは作者の勝手な設定のせい
だろ？」

夏海「でも何となく可哀想な気がするんです。このままじゃ、今年
の戦隊のレッドの顔が成り立たないじゃないですか。

此処だけの話、作者さんが初めて仮面ライダーカブトの変身者の天
道総司さんを見た時は中学1年生で、当時嫌いだった先輩とどこと
なく似ていたせいで作者さん、カブト観るのを躊躇したんですよ？
下手に不憫なキャラにしたら、一生ヘタレなキャラと認識されてし
まいます」 実話

士「……それは厄介だな。まさに」

W L T（左側）『さあ、お前の罪を数えろ』

W L T（右側）『トリガーフルバースト』

カノン「アッハッハッ！！肉片にしてあげる！！」

シャウト「サベッジジャイヴ！！」 マイクとゴークアイサーベルの
斬撃

作者「ちよっおま……ギイヤアアアアアアア！！」

セイギ（ファンタ）「交渉になってない。もはや力ずくになってる
……」

ナガレ「しかもシャウトの技、ダイスオーのゴークイレッドの技名
だよな」

ゲンタ「ダイスオーと言えば、ゴークイジャーに合わせたのか”ダイ
スオーDX”になるよな？」

マーベラス「相手が誰だろうと、気に入らねえもんはぶっ潰す。そ
れが海賊つてもんだろ？」

鳴滝「貴様等は、何なんだ！？」

マーベラス「聞きてえか？聞きてえよな、俺達の事。

俺達は海賊戦隊ゴーカイジャー。宇宙最大のお宝を探しに立ち寄った、通りすがりのスーパージョー戦隊だ！！てめえらのハートに刻んどきな……」

ゴーカイジャー「……ゴーカイチェンジ！！」

【ゴオオオオオカイジャアアアア！！】

ゴーカイジャー「……海賊戦隊、ゴーカイジャー！！」

ゴーカイレッド「派手に行くぜ……！！」

マーベラス「……派手に……行くぜ……（……）zzz」

アイム「ふふっ、どんな夢を見ているのでしょうかね……」

作者（の屍）「……」

雑談001 マーベラス、脱不憫計画（後書き）

後書き劇場 Sプレイ注意

映司「正義の為なら何処までも残酷になるんです!!」 返り血浴びた

マーベラス「おりゃあ!!」 唐突に殴る

ワルズ・ギル『パパアアアアアアアアアア!!』

マーベラス「オラオラどうした!? ファ ヤー ルネ ドカイナ
マ落としやってみるよ!! 某” だってばよ” が口癖の忍者がいなき
や出来ないのか!?” リンチ

ジョー「マーベラス!! 中の人ネタはよせ!! 仮にもお前正義の味
方だろ!?”

作者「次回もお楽しみに」

【スツウツパア ラジカルツ タイムム】

雑談002 火野映司とキャプテン・マーベラスが再起不能になったようです

【スツウツパァ ラジカルツ タイツム】

【レエエエエツゴオオオオオ!!】

雑誌002 火野映司とキャプテン・マーベラスが再起不能になったようです

マーベラス「おっはよーって……」

映司「……」 花占いしている

マーベラス「映司、どうしたんだ？」

ナビィ『さっきからこうなんだよねえ』

マーベラス「おい映司」

映司「……」 花占いしている

マーベラス「火野映司」

映司「……」 花占い以下略

マーベラス「小林映司君？」 中の人ネタ

映司「……」 花以下略

マーベラス「揚げ饅頭で腹下した映司君？」

映司「……」 は以下略

マーベラス「……」

映司「以下略

マーベラス「……お前の明日^{バンツ}裂くぞ映司!!」

【R i d e r K i c k】

映司「せいやぁ!!」 回し蹴り

マーベラス「映司がバグったギヤアアアアア!!」

↓伊達(000)が事情説明中↓

伊達(000)「……って訳なんだよねえ」

映司「……」 落ち込んでいる

ハカセ「なるほど、これが地球で言う”一目惚れ”ってやつか」

ルカ「自分の欲望で綺麗になった女性に一目惚れねえ……」

アंक「一目惚れだど!? 厄介だな……!!」

ネク「(そついや確かに……)」

カザリ「(次回(多分)僕からコア1枚奪ってコンボ使うというのに……)」

ウヴァ「(主人公たる者、情け無いな。コイツもだけど……)」

マーベラス「えっ、映司に…蹴られた……うつつ」 落ち込んだ

クロス「あんだ、俺と同じ不幸の匂いがするぜ……」

ジョー「キャプテン・マーベラスの名が泣くぞ、お前の師匠もな……」 目頭押さえながら

アイム「お茶お持ちキヤア!!」 躓いてお茶が宙を舞う

マーベラス「……うあっちい!!」 お茶がかかった

クロス「熱いつ!!」 上に同じ

アイム「すつ、すみません!!」 慌てて拭く

シャウト「面舵一杯っ!!」 勝手に舵いじっていた
ゴゴゴゴッ ゴーカイガレオンが動いた音

マーベラス「ウワアアアアアアアアアッ!!」 窓割って
落ちた(事故)

一同『マーベラスウウウウウウウウウ!!』

黒服の男「!!!!?」 マーベラスの様子を見ていた

ア 口師匠『マーベラスウウウウウウウ!!』

キヨちゃん『……』 マーベラスが落ちた窓から落ちた

真木「ギヤアアアアアアアアアアア!!」

シャウト「あのっ、そのっ……ズミマゼンデジダ……」 ボコボコ
にやられて縛られている

裏アーム「っ！！」 足蹴り

ジョー「マーベラスが殻に閉じこもったぞ……」

マーベラス 部屋に閉じこもった

映司「……」 落ち込んだ

伊達（〇〇〇）「火野、花占いで最後の一枚が”嫌い”だからって落ち込むな」 慰める

アंक「恋愛なんて興味ないな」

ネク「妹に近づく輩はムツコロス……」

クロス「……一目惚れなんて良いこと無いんだぜ。俺なんか初めて一目惚れした奴が、女装好きの男……！！」 落ち込む

伊達（〇〇〇）「最も、火野がああなったのもお前のヤミーの仕業なんだけどな」 カザリを指差す

カザリ「あれは僕のヤミーでもあり、ガメル兄さんとパパのヤミーでもあるんだけど……」

メズール「何言ってるのかザリ……」 某戦闘スーツ着て

ガメル「おにいちゃんたちのせいにするな！！」 ハイブリットマ
グナム所持

ウヴァ「パパ！！中の人ネタ駄目っ！！」

【ファアアアイナルウェエエエイブー！！】

裏アトム「絶望がお前のゴールだ……」　ゴークイガンを向ける

シャウト「ズミマゼンモヴジマゼンユルジデグダザイアムザマ……」
「今にも泣きそう」

ルカ「やめたげてよおー！！」

アंक「しかしどうする……？このままだと話が成り立たない……」

映司「……」　花占い再開

ウヴァ「一目惚れって怖いな」

クロス「そうなんだよな。俺も一目惚れしたばかりに男だと知った
ショックが大きかった……」

ワルズ・ギル『ハッハッハッ、御機嫌よう地球人共』

アंक「出たな豪　寺・ヘタレ・ギル」

ワルズ・ギル『ちよっ！！何が豪炎　・ヘタレ・ギルだ！？まるつきり中の人ネタだろう！！しかもヘタレではない！！』

ジョー「ヘタレだろこのファザコン」

ワルズ・ギル『orz』

伊達（〇〇〇）「何なんだ今回は……？あつちでもこつちでも落ち込んでる……」

アंक「それ言っちゃお終いだぞ？」

後藤「火野！！一体どうしたんだ！？」

映司「後藤さん、恋した事ありますか？」 花占いしながら

後藤「……恋？」

映司「今までいろんな世界を旅してきたけど、あんなに綺麗な人は初めてだ……」 花ビラ千切り終えた

後藤「……」

【Drill Arm】

後藤「目を覚ませ火野！！」 映司にボディブロー（ドリルアーム装着）

映司「ギアアアアアアアアアアアアアアアアア！！ 舵にぶつかる」

伊達（〇〇〇）「後藤ちゃんナニヤッテンダ！？」

ゴゴゴゴゴツ ゴーカイガレオンが動いた音
パリンツ 窓ガラスが割れた音

「ギアアアアアアアアアアアアアアアア……」 マーベラス
が落ちていった叫び声

一同『ナニヤッテンダマーベラス！？』

黒服の男「……可哀想だなアイツ」

アム 師匠『マーベラス……』

アラタ「あーあ……」

雑談002 火野映司とキャプテン・マーベラスが再起不能になったようです

後書き劇場

作者「……あつ、あまりにマーベラスを不憫にし過ぎて申し訳ありませんでした……」　ボロボロになりながらも土下座

裏AIM「っ!」　作者を足蹴る

マーベラス「っ!」　上に同じ（ミイラ状態）

翔太郎「マーベラスって、後書き劇場じゃあドSになるんだな」

マーベラス「今回は格好良くしろよな、あゝあ!？」

作者「ゴメンナサイゴメンナサイゴメンナサイ……。決してマーベラスが嫌いと言っ訳ではないんですよ許して下さい……」

【スッウッパァ　ラジカルッ　タイム】

雑談003 シャウト? いやシャウタです(前書き)

【スツウツパア ラジカルツ タイツム】

??? 「ワイナール、何だこれは?」

????? 『出落ち駄目だよ!?!』

【レエエエエツ、ゴオオオオオ!?!】

雑談003 シャウト? いやシャウタです

【シャチー! ウナギ! タコ!】

【シャツシャツシャウ〜タ〜 シャツシャツシャウ〜タ〜】
〇〇〇シャウタ(???) 『ふむ、中々の着心地だ』

魁「(何だろう、ちい姉ちゃんみたいな感じだなあれ……)」

映司「ああ、優美さん……」 未だにヤミーの毒にやられている。
その状態でアंकの頭をペチペチ叩く

アंक「……」 バケツスタンバイ

後藤「目を覚ませ!!」 巨大ハリセンで映司を叩く

映司「あふっ! ?」

…… それにしてもこれって、愛のコンボ! ?」

【ラブ!! ラブ!! ラブ!!】

アंक「そんな〇〇〇があつてたまるか!! それにお前何回俺の頭殴った! ?」 映司に水をかける

〇〇〇シャウタ(???) 『……ワイナール、何やってんだ彼等は?』

ワイナール『うつわ、僕に聞かないでよ』

カザリ「はあ……」 肩を竦める

ネク「暇だねカザリちゃん」 レンジャーキー（ゴセイレッド）を
いじっている

メズール「……！！」 釘バッドスタンバイ

「ギャーツ！！」

エリック「華麗な僕の久々の登」ギャアアアアアアアアアアア
アアアア！！」

カザリ「……」 気絶してる

マーベラス「……」 頭にたんこぶ作って気絶してる

エリック「……」 ゴーカイサーベルが頭に刺さって気絶してる

裏アイム「っ！！」 メズールに説教（という名のお仕置き）中

メズール「まさか振りかぶった先に海賊の坊やがいたとは……」

〇〇〇シャウタ(???) 『貴方は悪くない、あれは事故だ』

ワイナール 『いや他にもあるでしょナギサちゃん! ?』

アंक 「更に馬鹿になった映司は放っておいて……、何故お前は〇〇〇に変身している?」

〇〇〇シャウタ(ナギサ) 『いやっ、つい使ってしまったのだ』

ハカセ 「つい使ってシャウタコンボになったの?」

シャウト 「呼んだ?」

ハカセ 「シャウトではなくシャウタだよ(紛らわしいなあ……)」

〇〇〇シャウタ 『しかし気分転換に変身したとはいえ、中々の着心地だ』

ナビィ 『シャウタコンボはメズールの所持メダルである”シャチ”
”ウナギ””タコ”の3枚から変身する〇〇〇のコンボの1つであり、唯一水中戦を得意とするコンボだよね』

ワイナール 『しかしよく見ると、シャチ以外は食べ物じゃんこの3枚』

メズール 「どうせそんな物よ、水棲生物はね……!!」

ガメル 「パパ、元気出して……」

ヒューガ「ジョーさん、これ持って下さい」 自分の剣を渡す

ジョー「……」 何故か甲冑姿で6刀流

ルカ「うわっ、リアル伊達政宗……」

ジョー「……」 黙ったまま

マーベラス「……」 何故か手錠かけられてる

ドギー「海賊容疑で逮捕だ」 手錠かけた本人

ナギサ「ワイナール、何故彼は逮捕されてる？」

ワイナール「ああ、きっと悪い事したんだよきっと。そりゃあ海賊だもんねえ……」

魁「あつ、ドギーさん」

マーベラス「どうせ俺なんて……」 落ち込む

映司「アンクーー!!」 ボコボコにやられる

オウムヤミー「ハッハッハッ!!」 ボコボコにやる

後藤「あのヤミーお前のだろ!？」

アंक「」 アイス食べてシラばつくれる

ジャスミン「悪足掻き、終了」

全グリードに手錠をかける

「ウヴァー！？何じゃこりゃあゝ！？」

カザリ「初手錠だ……」

メズール「何のつもりなの……？」

ガメル「ふん!!」
手錠破壊

バン（デカレン）「（ ）！」

「ジャスミン、ドーンと行ってみよう！」

そのまま連行

「アンク、おい離しやがれ！！」
連行される

映司「アンクー!!!」

SPD地球署

グリッドS
「
「
「
「
「
……
「
「
「
「
「

「マーベラス……何でこんなばっか？何で蜚は死んでまうの？」

ナギサ「……大変なんだな彼等は」

魁「マジレンジャーの大いなる力、返してよ」

ルカ「だが断る!!」

雑談003 シャウト? いやシャウタです(後書き)

後書き劇場

シャウト「出番無かったな」

〇〇〇シャウタ「じゃあコレになる？」

シャウト「ん？まあいいや、変身！！」

【タカ！！！！！！！！！！】

ネタバレ防止の為伏せました

〇〇〇シャウタ『シャウトモン系統って、絶対似合うと思うよそのコンボ』

〇〇〇・・・『まあ、確かに』

「マーベラス、全宇宙を敵に回しても構わないぜ！」

脱走

ドギー「まっ、待て!!」

ナギサ「次回もお楽しみに……ワイナール」

「ワイナール、何でも僕に聞かないで、自分で考えてよ！」

【スツウツパ
ラジカルツ
タイム】

雑談004 ナノブラスト・トラブル（前書き）

【スツウツパァ ラジカルツ タイツム】

【レエエエエツツ、ゴオオオオオ！！】

雑談004 ナノブラスト・トラブル

クラウチ「ゴラアッ!!」 ナノブラスト化

エミリア「モッフモフだぁ」 Nクラウチに抱き付く

Nクラウチ『オイ止メロエミリア!!』

ユート「モッフモフ モッフモフ」 同じく

チエルシー「シャッチョサン楽しそうネエ」

ウルスラ「(クラウチ、アタシにはさせてくれないのに……)」

アイム「……」 ゴーカイガンスタンバイ

ルカ「アイム……、何それ？」

クラウチ「……」 時間切れ兼気絶中。しかも首輪付けられている

アイム「フッフ、^{ペット}奴隷ですわ」

ハカセ「(ペットと読んで奴隷と書いたよ!!)」

鴻上「おめでとうジョー君!! 御褒美をあげよう!!」 クリームをぶちまける

ジョー「……」 クリームを顔面に喰らう

マーベラス「……」 手錠かけられている

タクミ（５５５）「こんにちは……って、何やってんですかあんだ達？」

士「そーいや、クラウドはビーストだったよな？」

ネク「ファンタシースターポータブル2には

- ・ バランスタイプのヒューマン

- ・ 法撃（俗に言う魔法）タイプのニューマン

- ・ 命中方の高い射撃タイプのキャスト

- ・ 攻撃力の高い近距離タイプのビースト

- ・ 防御を捨てた攻撃タイプのデューマン

の5つの種族がある」

鳴滝「ビーストの特集能力はナノブラスト。自身の姿を様々な能力に特化した獣人に姿を変える能力、特にLv30とLv40以降に変身できるナノブラストは下手すると暴走する、おのれディケイドオ！！」 突然強風が吹く

ネク「ナルタコス煩いなあ……」

カザリ「ナルタコスだから仕方ないよ」

ユウスケ「士、言っておくが……ナノブラストはグラールのピーストしか使えないからな!!」

士「馬鹿かユウスケ!?!ここではそんな理屈なんて通じないのさ!!」
「ガイアメモリ準備」

【NANOBLAST】

翔太郎「フィリップ!!お前の親父さんは何て物を作ったんだ!?!」

フィリップ「翔太郎、これはこれで興味深いじゃないか」

バン「仮面ライダーディケイド及び門矢士!!数々の世界の破壊未遂容疑で、ジャッジメント!!」

士「なんだお前は?」

マーベラス「馬鹿!!アイツは宇宙警察だぞ!!」
士と取っ組み合う

士「止めるハーフボイルドってああ!!」
ガイアメモリが宙を舞う

モモタロス「俺、初参上グエツ!?!」
ガイアメモリが挿さる

Nモモ「ナンドコレハ?マアイイ。俺、参上!!」
赤いオーク型
ナノブラスト

タイラー「……気に入らないな」

ジョー「(中の人ネタキタよ!!!)」

アंक「だったら……!!」 映司ガイアメモリを抜いて挿す

映司「何するつもりなんだアंक!?」

Nアंक『ハッハッハッ、コレで完全態二……』 鶏型ナノブラスト

全員『……鶏?』

伊達(〇〇〇)「後藤ちゃん、まずはあの鶏ヤミーを退治するぞ!」

後藤「伊達さん、オウムです」

アंक「orz」

タクミ(555)「獣人に変身出来たからって、良い事ばかりじゃないんだよ……」 ガイアメモリ破壊

海東「オルフェノク君が言うのと分かりやすい……」

映司「みんな、27話と28話の仮面ライダー〇〇〇は特別編だよ!!仮面ライダー放送1000回を記念した楽しい内容だから期待してね」

マーベラス「俺達海賊戦隊ゴーカイジャーも楽しみにな!!運が良かったらお前等が好きだったスーパー戦隊に変身してるかもな!!」

バン「お前等、さり気なく宣伝するな!!」

フィリップ「みんな!!今度のポケモン映画は”白き英雄レシラム”を見てくれ!!」ポスター持ち

翔太郎「良かった、あのままだったらテレ東破壊しに行く程だったからな……」ゼクロム版のポスター持ち

ルカ「(お金儲けのチャンス……!!)」

アイム「ルカさんが邪悪な笑みを!!」

雑談004 ナノブラスト・トラブル（後書き）

後書き劇場

シャウト「しかしOOOって、色々謎が多いよな」

ウヴァ「それが仮面ライダーだろ？」

Nマーベラス「……」 金色の狐型ナノブラスト

ワルズ・ギル「どうだ海賊共！！宇宙帝国ザンギャックの技術士、インサーンが造った新兵器は！？」

Nマーベラス「……死ネイ！！」 ワルズ・ギルを殴る

ワルズ・ギル「パパアアアアアアアアアアアア！！」 お星様に

ザンギャック一同「ナニヤツテンダアンタ！！！？」

【スッウッパァ ラジカルッ タイムム】

短編001 左翔太郎「ゼクロム、ハードボイルド白書? (前書き)」

【スッウツパァ ラジカルツ タイツム】

翔太郎「またこんな事が……orz」

フィリップ「翔太郎!! 少なくとも僕は好きだよ!!」

照井「……しかしアイツ等もあぁなるとはな」

亜樹子「私聞いてない」

翔太郎「聞いてなくて良い、逃げるならいm」

【レエエエエツ、ゴオオオオオ!!】

短編001 左翔太郎「ゼクロム、ハードボイルド白書？」

俺の名は左翔太郎。風都の私立探偵さ。おやっさんこと鳴海荘吉師匠から預かった鳴海探偵事務所で相棒の園咲来人ことフィリップ、おやっさんの娘で（自称）所長の鳴海亜樹子、風都署の刑事の照井竜とその部下、頼もしき情報屋達と共にこの風都を泣かせる事件を追ひ、もし”ドーパント”絡みの事件なら俺とフィリップの2人で仮面ライダーWへと変身するのさ。

この前は亜樹子が仮面ライダーアレルギーとかになって大変だったな。照井の奴なんかドライバーとメモリを没収されたもんな。そして突然現れた”仮面ライダーコア”とかいう巨大な化け物相手に、仮面ライダーOOOと協力して倒したのさ。

亜樹子と照井の結婚式も終わり、俺達は束の間の休息を嗜んでいた……のに、またあの忌まわしき事件が俺、いや俺達を襲った……。それは……

ゼクロム（翔太郎）『……ハッ、ハハッ、アハハハハハハハハハハハハハハハハ！……ギャアアアアアア！！』

レシラム（フィリップ）『翔太郎見て御覧！！コレがレシラムというポケモンだよ！！興味深いねえ』

亜樹子「あわわわわわわ！！りゅ、竜君！！どどどどどうしたの！？」

キュレム（照井）『俺に、俺に……、俺に質問するなあ！！』

俺達は再び、ポケモンになってしまった。しかも俺以外も驚いていやがるじゃねえか……。これは一大事だ……

レシラム（フィリップ）『何度も言わせるな翔太郎、僕は知らないよ。大体僕だって気付いたらレシラムになってたんだよ』
キュレム（照井）『俺に質問するな。大体、俺が知っていたら既に犯人は刑務所にゴールしている』

亜樹子「私聞いてない！！」

ゼクロム（翔太郎）『本当かよ……？』

どうやら誰も知らないらしい。こりゃマズいな……

ゼクロム（翔太郎）『フィリップ、照井、とにかく元に戻る方法を探すぞ』

キュレム（照井）『当たり前だ』

レシラム（フィリップ）『翔太郎、僕としては暫くこのままでも良いのだが……』

ゼクロム（翔太郎）『馬鹿野郎！！このままだと、俺達何処にも行けないんだぞ？当然照井が戻らなきゃ、亜樹子は新婚旅行すら行けない……』

亜樹子「何だつてえ？私聞いてない！！絶対に新婚旅行に行くんだからあー！！」

レシラム（フィリップ）『それは流石に可哀想だな……分かった、検索しよう』

フィリップを説得するのは一苦勞だぜ。まあ、地球の本棚に行ってくれてひとまずはよかったな……なんて思っていたら

『すみません！！誰かいますか！？』

依頼人かあ……、今は厄介だぜ……。とりあえず亜樹子に頼んで帰って貰うしかないな……

ゼクロム（翔太郎）『亜樹子、帰ってもらえ』

亜樹子「しょうがないわね……。すみませーん、今取り込んでいて

……ギイヤアアアアアアアアア！！」

キュレム（照井）『所長！！』

どうしたんだよ亜樹子！？お前のみに何かがあったら、おやつさんに顔向け出来ねえよ！！

俺と照井は真っ先に亜樹子の元へと向かったぞしたら……

ビクティニ（??）『あのっ、助けて下さい！！』

亜樹子「かつ、可愛い！！」

んだよ亜樹子！！ビクティニが来た位で喜んでんじゃねえよ！！……ん？ビクティニが来た……だと？

ゼクロム（翔太郎）『お前、誰だよ！？』

ビクティニ（??）『そっ、その声。まさか……W？』

ゼクロム（翔太郎）『そうWって、何で知ってるんだよ！？』

ビクティニ（??）『これ！！見たことあるでしょ！？』

そのビクティニは1枚のメダルを渡した。赤色をして、鷹の刻印が彫られてる……て事は！！

ゼクロム（翔太郎）『お前、仮面ライダー〇〇〇か！？』

ビクティニ（映司）『そう！！因みに火野映司ね、俺の名前は！！』

なんて事だ、仮面ライダー〇〇〇までポケモンになるなんてよ。ポケダンなんかじゃあるまいし……。しかもビクティニだけじゃなく、フタチマルまで来てるじゃねえか。フタチマルに関しては事務所の隅で縮こまつてるけど……

ゼクロム（翔太郎）『経緯は置いといて、アイツ誰？』

ビクティニ（映司）『あつ、あの人は鴻上ファウンデーションの後藤さん』

キュレム（照井）『鴻上ファウンデーションって、会長の鴻上光生が仕事ほったらかしにしてケーキ作りに専念してるのに肝心のケーキの処理を部下に任せている、”素晴らしい！！”が口癖で作者か

ら”テンションフォルテツシモ鴻上さん”と呼ばれている事で有名な財団だ』

レシラム（フィリップ）『若い頃ハッスルして少年院に送られたらしいね』

亜樹子「でも2015年に死んじゃったんじゃないっけ!？」

ゼクロム（翔太郎）『中の人ネタを持つてくるなよ馬鹿野郎』

フタチマル（後藤）『……こんな姿で、会長に会える訳がない。ていうか会長に合うと何時も生クリームぶちまけられるし……、正直警察官のままが良かったかな……』

後藤とかいう奴、完全に落ち込んでやがるぜ……。どうしたら良い？

ドゴオオオオオオオン!!

って、何だあ!?!いきなり玄関がぶち壊されたぞ!?

リザード『久し振りだな、仮面ライダーW』

ジュプトル『士に聞いて来たんだ。この事務所のお宝を僕にくれな
いか?』

ゼクロム（翔太郎）『……バリバリバリッシュウ!!（訳：おのれ
ディケイドオ!!）』

おのれ破壊者！！俺に何の怨みがあるとでも言うんだ！？しかもこそ泥も連れて来るんじゃないやねえよ！！

レシラム（フィリップ）『……なる程、このメンバーには共通点がある。全員仮面ライダーだ』

フタチマル（後藤）『俺はたまたま映画で変身しただけなんだよ……。正式な仮面ライダーなんかじゃねえんだよ……。ウウツ』

ビクティニ（映司）『げっ、元気出して下さい誤砲……。後藤さん』

ジュプトル（海東）『となると、僕達をこんな姿に変えたのは誰かの仕業って事で良いんだね、データ人間君』

レシラム（フィリップ）『その通りさ、海東大樹君。君の事は検索済みさ、海鼠にトラウマがあるみたいだね？しかもお兄さんがあの海東純一スマイルで有名な……。』

ジュプトル（海東）『止めてくれないか！？ニーサンを馬鹿にするのは！？君だって、園咲ムカの息子だろ！？君もバズに弱いんだろ！？』

ゼクロム（翔太郎）『喧嘩は止める2人共！！俺達が言い争ったって、何も解決しやしない！！』

リザード（士）『大体分かった、俺達で犯人をとっつかまえば良いんだな』

キュレム（照井）『……心当たりあるのか破壊者？』

リザード（土）『グハア！！もっ、もやしって、言うな……ガクッ』

ジユプトル（海東）『土！！死ぬな！！』

ビクティニ（映司）『そう言えばその台詞って、夏海さんと死にかけの土さんの良い会話シーンだったのに突然海東さんが割り込んだせいで、”おのれディエンドォ！！美味しい所を持って行くんじゃないっ！！”って一部の観客に思わせた台詞ですよ？』

ゼクロム（翔太郎）『それは言うな！！流石にこそ泥が可哀想だ！！』

レシラム（フィリップ）『いや、”逝くな！！”だったような……。まあどっちでも良いや』

つたく、折角犯人探そうってなったのに、これじゃあ無理じゃねえかよ……。土は大ダメージ受けてるし、フィリップとこそ泥は喧嘩してるし、後藤は傷心中だし……

ジユプトル（海東）『それはさておき、もしかしたらアイツかもしれない……』

ゼクロム（翔太郎）『誰だよ……？』

本題を思い出した海東の心当たりの人物に、俺達は同感した。そして、ソイツを狩りに行った……

ガイ（ディケイド）『皆様どうか、このアポロガイストに清き一票を！！』

アイツがこそ泥の言っていた心当たりみたいだが、何で風都の市議会議員選挙に立候補してるんだよ？

リザード（土）『アポロガイストの奴、まだ生きていたのか。しぶとい奴だ』

ジュプトル（海東）『全くだ。パーフェクターを奪ったはいいが結局土が夏メロンを復活させる為に使い、アマゾンの世界では破壊されたのにな。その時の君はまさに外道だったね』

レシラム（フィリップ）『アポロガイストについて検索済みさ。Xライダーの世界の……』

ゼクロム（翔太郎）『検索は後回しだ。おいお前！！』

ちびっ子A「あっ！！レシラムとゼクロムだ！！」

ちびっ子B「しかもビクティニまでいる！！」

ちびっ子C「わーいしかも本物だわーい！！」

ああ、出るんじゃないかった……。今の俺達はポケモンなんだ、夢見るちびっ子がよってたかるのも無理は無いぜ……

ガイ（ディケイド）「何だ貴様等は？無様な格好をしよって……」

リザード（土）『お前が何を企んでいるかは知らないが、この破壊者様がお前の計画を破壊してやる……って、俺の尻尾で遊ぶなガキンチョ！！』

フタチマル（後藤）『……どうせ時代はツイッターじゃなんだ。最初の時点で印象が悪いミジュマルなんて、幾ら進化して格好良くなっただってツタ系統の足元にも及ばないのさ……』

ビクティニ（映司）『元気出して下さい後藤さん！！俺、蛇が苦手なのでジャローダは苦手ですけど、ダイケンキは好きです！！』

キュレム（照井）『……左、この状況を振り切りたいんだが？』

ゼクロム（翔太郎）『辛抱しろ！！おいガキンチョ共、俺達これから忙しいからな、此処から離れた所で遊んでろ！！な！！』

ちびっ子軍団『ハァーイ……』

とりあえずちびっ子軍団がどっかに行ってくれてよかったぜ……つと改めて、俺達は颯爽と奴の前に現れたのだった。

ゼクロム（翔太郎）『俺達をこんな姿に変えたのはお前の仕業だな？』

ガイ（ディケイド）「その通り！！仮面ライダーさえいなければ世界は我々大ショッカーの物！！私はこの力で、仮面ライダーにとって迷惑な存在になったのだ！！」

【CHANGE】

奴の手には”C”のガイアメモリがあった。まさか、ガイアメモリの力を使ったのか！？

レシラム（フィリップ）『なる程、”チェンジ”のメモリで仮面ライダー達を別の姿に変えた訳だね』

キュレム（照井）『しかし何故ポケモンだ？』

ガイ（ディケイド）「アポロ・チェンジ！！」

ゼクロム（翔太郎）『ウオイ！！質問に答えろ！！』

照井の質問にも答えず、奴はドーパントではない怪人に変身した。士が言っていた、アポロガイストとかいう奴だな……

質問を無視された照井はかなりキレてた。まあ仕方ないと言いたいが、普段”俺に質問するな！！”とか言って他人の質問を受け付けないアイツなんだから仕方ないとは言えないな。

キュレム（照井）『務所がお前のゴールだ』

【ACCCEL】

キュレム（照井）『変つ、身！！』

【ACCCEL】

アクセル『さあ！！振り切るぜ』

照井は仮面ライダーアクセルに変身した……は良いが、背中からキュレムの翼、ケツからキュレムの尻尾が生えていた。これって、夢の世界の時と一緒に……

レシラム（フィリップ）『翔太郎、僕達も行くよ！！』

ゼクロム（翔太郎）『ああ』

ん？夢の世界の時と一緒に……て事は！？

ドライバーを装着してそう思ったが、もう遅かった。俺の隣には、顔を青ざめてドライバーが食い込んでいる腹を押さえている相棒の姿があった。

レシラム（フィリップ）『翔太郎、ドライバーがキツイ……グフツ
！！』

ゼクロム（翔太郎）『悪かったフィリップ！！この姿じゃあWにな

れないんだった!!お前は休んでいる!!」

俺は急いでダブルドライバーを外し、替わりにロストドライバーを装着した。

【JOKER】

ゼクロム（翔太郎）『変身!!』

【JOKER】

ジョーカー『俺は仮面ライダー、ジョーカー』

決まったぜ……って、夢世界の時みたいにゼクロムの両翼と尻尾が生えてるじゃねえか……まあいい

【KAMEN RIDE】

リザード（士）『変身!!』

ジュプトル（海東）『変身!!』

【KAMEN RIDE DECADE】

【DIEND】

破壊者ところ泥も変身したぜ。だが……俺らと違って普通じゃねえか……

ビクティニ（映司）『変身!!』

【タカ!!トラ!!バッタ!!】

【タットツバ タトバ タットツバ】

フタチマル（後藤）『……………変身！！』

【カポーン】

〇〇〇も後藤も変身したぜ。これで（フィリップを除いた）俺達全員が変身した。因みに……………後藤のは普通だったけど、〇〇〇にはビクティニを象徴する羽がケツに……………

〇〇〇タトバ『……………！！何コレ？えっ、何コレ？』

バース『火野、何だそれは……………？』

アポロガイスト『ふっ、無様な格好ではないか』

ジョーカー『煩えよ、死に損ないが』

アクセル『俺をこんな姿にした罪、そっくりそのまま償って貰う！！』

ディケイド『丁度良い憂さ晴らしだ、もう一度破壊されな！！』

ディエンド『今度こそ君達のお宝を奪ってやる……………』

アポロガイスト『ふっ、復活したこの私に勝てる訳が無いだろう！！』

〇〇〇タトバ『行きますよ後藤さん！！』

バース『ああ……』

こうして俺達はアポロガイストに挑……

翔太郎『……あれ？』

亜樹子「あつ、起きた？」

フィリップ『翔太郎……、何で僕達はこんな所で寝ていたんだろうか……？』

照井『俺に質問するな』

フィリップ『照井竜、少なくとも君には質問していないさ』

気付いたら俺達は、リボルギャリー格納庫で寝ていた。

あれは夢だったんだ……ってそうだよな！！大体人間がポケモンになるみたいなポケダン設定、普通有り得ないっつの！！しかし何で何度も同じ夢を……ん！？

翔太郎『フィリップ、照井、その格好は何だ……？』

フィリップ『格好？僕はいつも通りさ。てか翔太郎、君こそその格好は一体……？』

照井『俺に質問するな。大体左、お前こそ……』

何か嫌な予感がした。とりあえず亜樹子に鏡を持ってきて貰い、俺達は一斉に鏡を見た。そこに写っていたのは……

ゼクロム（翔太郎）『……ハッ、ハハッ、アハハハハハハハハハハハハハハハ！……ギャアアアアアア！……』

レシラム（フィリップ）『翔太郎見て御覧！！コレはレシラムというポケモンなんだよ！！興味深いね』

キュレム（照井）『……何だこの姿はっ……！！』

前言撤回、こんな事ってあるんだな。

完

短編001 左翔太郎「ゼクロム、ハードボイルド白書? (後書き)」

後書き劇場

映司「……あれ? 夢だったのかな? ビクティニになった筈なんだけ
ど……」

後藤「火野、俺なんてフタチマルだぞ?」

マーベラス「きっと夢だ」

士「久しぶりだな、ゴーカイレッド……」 激情態オーラ全開

マーベラス「げっ……、破壊者だ……」

士「こっち来いゴーカイレッド、俺の恐怖をためえのハートに刻ん
でやる……」 マーベラスを何処かに連れて行く

マーベラス「ちよっ、タンマタンマタンマ!! 待つて、止め……ギ
イヤアアアアアアアアアアアアア!!」

映司「マーベラス君!!……おのれ破壊者あ!!」

【タカ!! クジャク!! コンドル!!】

【タアアアアジャアアアアアドルウウウウ
〇〇〇タジャドル・N^{ネガ}ウオオオオオオ!!】 色が反転した
タジャドル

ディケイド激情態『来るなら来い!! 全てを破壊し合っ!!』

ゴーカイレッド・D^{ドラス}『海賊の誇りを汚しやがって……、覚悟しやが

れ!!」 ドラスオーラ

外道シンケンR『参る……!!!』

シンケンブルー『TONOoooooooooooo!!』

鳴滝「世界は混沌を迎えた!!おのれデイケイドオ!!」

海東「P・S：OOOタジャドル・N^{ネガ}、ゴーカイレットD・(ドラ
ス)は作者オリジナルのOOOですので悪しからず……だって」
【スッウッパァ ラジカルッ タイムム】

ゼクロム(翔太郎)「……俺達はどうなった?」

キュレム(照井)「……俺に質問するな」

レシラム（フィリップ） 『僕は構わないけどね』

雑談005 ハートブレイク5103（前書き）

【スツウツパア ラジカルツ タイツム】

【レエエエエツゴオオオオオ!!】

ナビィ『オイラもいるのに……ウウッ』

マーベラス「ん？ああ。ジョーとルカは買い物、ハカセとアイムは拳法修行」 右腕の腕輪を机に置く

ナビィ『オーイオーイ、オイラもいるヨー』

シャウト「ふう〜ん！？何コレ重っ！？」 腕輪をしたが重くて悶える

マーベラス「それか？大体15kgはあるぞ」

ナビィ『シャウ』

シャウト「ジユウゴキロデイスッテ！？」

マーベラス「15kg」

ナビィ『ちょ』

映司「何だろう、何時ものマーベラス君じゃない！？」

ナビィ『酷いヨ酷いヨ！！みんな気づいてくれないヨ！！酷いヨー！！』 精神の鎧を纏い暴走

マーベラス「ちよっ、落ち着け鳥！！」

映司「ナビィ！！それ中の人ネタ！！（衛星放送だけど）最近日本版アニメをやるようになった某ミュータント軍団ネタ！！」

シャウト「ギャーツ!!」 窓を突き破って放り投げられる

後藤「……俺は石だ、俺は石……」 やさぐれた

ジャン「お前たち、ニキニキのワキワキか!？」

アイム「はい!!ニキニキのワキワキでございます!!」

ハカセ「きつ、筋肉痛になった……」

ナビィ『ああああ……』 トラ猫に舐められている

後藤「俺は石だ……」

マーベラス「何がどうしてあんなった?」

映司「そう言えば、仮面ライダー放送1000回記念の映画を撮影したんですけど、その時アंकに」

アंक『お前はその辺で石にでもなってる!!』

映司「って言われてたような……」

シャウト「……」 気絶中

マーベラス「大体分かった、原因はあのアंकだな。そう言えばあ

の時も、元はと言えばアंकがメダル落としたせいで歴史変わったからな……」

映司「マーベラス君、アंकだよ」

シャウト「……あのアイスばかり食ってる鶏グリードめ……」

アंक「メタルゲラスッ!!」 噓

ミラーモンスターの中でメタルゲラスが好きです by:作者

後藤「俺は石……、硬くて価値もない石……」

映司「後藤さん、元気出して下さい……」

マーベラス「大丈夫かよ……？」 シャウトから腕輪を取り返し、嵌めてダーツをする

後藤「……火野、俺は決めた」

映司「……何ですか」

後藤「俺は石だ。だから石の栄光を取り戻してみる!!」 立ち上がって何処かに行こうとするが、マーベラスにぶつかる

映司「ごっこ後藤さん!？」

マーベラス「ギャーッ!!」 跳ね返ったダーツの矢が額に刺さる

映司「何時ものマーベラス君だ!!」

後藤「後藤フラッシュ!!」 ただの頭突き

ウヴァ「ギャーッ!! 無駄に痛い!!」

ネク「どうしちゃったの5103!？」

後藤「後藤フラッシュ!!」

ネク「痛い!!」

鳴滝「おのれディケイドオ!!」

カザリ「なっ、何するの人間!？」

後藤「俺は取り戻す、石の栄光を!! その為の生贄となるが良い!」
!後藤フレッシュ!!」 ただの頭突き2連続

カザリ「キャン!!」

鴻上「後藤君素晴らしい!! その欲望素晴らしい!!」

後藤「次は貴様だぁ……、一世一代の頭突きを喰らわせてやる!!」

映司「後藤さん落ち着いて下さい!!」

鴻上「鴻上生クリームビックバン!!」 大量の生クリームをぶちまける

映司・後藤「ギャアアアアアアアアアア!!」

映司「後藤さん、大丈夫ですか……」

後藤「石の、石の栄光が……」

映司「やっぱり鴻上さんには勝てない……ん? シャウト、どうしたの?」

シャウト「……変身」

【……!!……!!……!!……!!……!!】
OOO………(シャウト)『グオラアアアアア!!』 暴走

映司・後藤「ドウシチャッタアンタ!!?!?」

真木「お2人に良き終わりが訪れん事を……」

ルカ「うわぁ……」 宝石を見る

ジョー「……」 荷物持ち

ブラジラ『ふむ……、もう少しこっちの方が良いかな……？』
スプレ中 コ

アंक「オチ？そんな物なんか無い！！」

雑談005 ハートブレイク5103（後書き）

後書き劇場

比奈「只今スーパー戦隊に関するアンケートをとってます」

里中「前々からやっていたのですが、宣伝する機会が無かったので1通しか来ませんでした。なので期間を延長します」

比奈「答える場合は

- ・ 思い出に残る、若しくは気になるスーパー戦隊名
 - ・ 選んだ理由
- を記入して、作者のメッセージに投稿して下さい」

映司「だっ、誰か助けてよ!!」

OOO・・・（シャウト）『グオラアアアア!!』

暴走中

里中「期間は1週間後（2011年4月10日）にします」

【スッウッパァ ラジカルッ タイムム】

予告『Pocket Monster Fantasia ケルベロスのウタ

この予告は、『Pocket Monster Fantasia

ケルベロスのウタ』にて一時期載せていた予告です

今回は感想は必要無いので、次回からまた感想下さい

『ヒヤハハハハ！！取り憑いちゃうよー！！』

「厄介なバグが現れましたねえ」

「あんな小さいのが？」

『コノヤロウ小さいとは何だ小さいとは！？』

「貴様如きが、俺に勝てるとも思うのか！？」

「身の程知らずが、我が焰に包まれるが良い！！」

「うっわ、凄っ……」

「おお怖い怖い！！コイツの相手でもしてな！！」

「悪い２人共、今回は俺１人でやらせてくれ」

「どっ、どうして！？」

「アイツは俺の妹だ、俺が救ってやらなきゃ駄目だからな」

「キザに決めやがって、お前に似合わない台詞だな」

「ぬかせ!!」

「ヒッ!!」

「ゴバアア!!」

「危ない!!」

「セッ……!!」

「お前……じゃない、貴方は……!!」

「久しぶりだな!! てめえなんか死にやがれ!!」

「利用出来るならてめえ等の知り合いだって使う!! それが悪者つてもんだろ?」

「ハッハッハッ……、お人好しも大概にしるよな!!」

「……お前を許しはしない……、お前の末裔まで『後悔させてやるよ!!』」

「面白い!! バグになり損なった奴が、バグに勝てる訳が無い!!」

「『好き勝手言いやがって……、覚悟しな！』」

拝啓黒崎セイギ様、私は……

「貴方を助けます。俺の人生に換えても……」

雑談006 シャウトの000変身珍道中（前書き）

【スツウツパァ ラジカルツ タイツム】

【レエエエエツッ、ゴオオオオオ！！】

雑談006 シャウトの000変身珍道中

シャウト「門矢士^{もやし}、頼みがある」

士「誰がもやしだコノヤロウ」 カブトのライダーカードを投げる

シャウト「前にナノブラストメモリっていうガイアメモリ、あったよなグフウ!!」 ライダーカードが刺さる

マーベラス「オゲエ!! シャウトが持っていたダーツが刺さる

士「……ああ、タクミに壊されたけどな」

ウルフオルフェノク（タクミ）『君達は僕達^{オルフェノク}の苦悩を知らないから平気で言えるんですよ……』 ダークになる

オーガ（木場）『人間とオルフェノクの共存を目指しても、結局スマートブレインの横やりを喰らう羽目になるし……』 やさぐれる

アंक（?）「……あのタクミ君、作者のオリキャラの方だよね？」

士・シャウト「「違う絶対違う間違っていない555のタクミだ……」

（。。。）」「 驚愕

アंक「ふん!だから何だっただよ?」 アイス食べてる

マーベラス「（。。。）」

シャウト「……アंक」

アニコ「アंकだ馬鹿！！作者がワザと誤植したたる馬鹿！！」

シャウト「アंक1つ質問……あのアंकは誰！？」「アंक（？）を指差す

アंक（？）「……へ？」

アंक「……もう1人の俺に決まってるだろ？」

一同『ウソダンドコードンー！！』

ガメル「パパあ、俺、目が痛いよお……」

メズール「はいはい。すみません、目薬貸してくれませんか？」

走^{かける}「……新手的オルグか？」

ウヴァ「……」 気絶してる

カザリ「……頭痛い」 額を抑えてる

後藤「俺は石だ……」

シャウト「話を戻して……、イメージメダルとシヨッカーメダルはあるか!？」

士「メダルなんか無い。それ以前に、完全に作者が映画見てきたからだろ?」

タクミ(555)「映画っ 映画っ うつらやましいなあ……」
 どんどん低音になる歌を歌いながら、ナビィを振り回す

ナビィ「ああああ……」 縄に縛られ振り回される

士「(大体タクミが居るのに映画の話をするんじゃない馬鹿!アイツ中の人の都合上で、リイマジの中で唯一出てないんだぞ!!)」

アंक「(てかタクミの奴を見ると、何故か腹立つってか……)」

マーベラス「(仕方ない、555の世界のお前は2話で倒された怪

人だったからな……」

シャウト「(……今日の俺、さっきから馬鹿馬鹿言われてる)」
orz体勢

アंक(？)「(……大体今やっている映画って、1号・2号・V
3・電王・W・OOO以外のライダーは本人じゃないよね。ディケ
イド位はもやしがやって欲しかった……)」

士「(もやし言うな。てかシャウト、メダル欲しかったら直接狩っ
てこいよ)」

シャウト「(・・(ヾ」 全速力でその場を後にする

タクミ「映画出演ってうっらやましいなあ だーけど僕は、でられ
っないっ!!」 ナビィを投げつける

ナビィ『酷いヨー!!』 窓を割って出された

士「しかしこれは……」

アंक(？)「陳情……？」 薔薇を取り出す

マーベラス「……抜け目ないなこのアंक」

以降アंकを”アंक”、アंक(？)を”アंक^{ロスト}”と表記し
ます

陳情

【ACCEL UPGRADE】

【BOOSTER】

アクセルB^{シャウト}『そのメダルをよこしなさい!!』 飛行しながら突撃

モモタロス『ホギヤアアアアアアアアアア!!』 攻撃を喰らう

シヨツカーG^{グリード}『何だか怖いよパアアアアアアアアア!!』
全力で飛行

アंक『そっぴや俺のメダルも必要だったんだあああああああ
あああ!!』 逃げてる

シヨツカー頭領『。。。』 震えてる

ブラック將軍『。。。』 泡吹いてる

アポロガイスト『。。。』 失禁

ムカD『ハッハッハッ、見ろ!怪人がゴミのようだ!!』 大爆笑

アंक『てめえ、俺に何をするつもりなんだあ!?!』

【ENGINE MAXIMUM DRIVE】

アクセルB^{シャウト}『俺に質問するなあ!!』 エンジンブレードで斬る

怪人ズ「「ギアアアアアアアアアアア!!」」 それぞれ
メダル放出

【タカ!!イマジン!!ショッカー!!】

OOOタマシー（シャウト）『どうでい!!』 見せびらかす

士「大体分かった、後ろの奴らを叩きのめしたんだな」

アंक「……やっと僕を見つけた!!」 アंकの右手を持ち

アंक（右手）『お前は……俺……ガクッ』 気絶

マーベラス「てか……今回俺の出番は？」

ネク「三十六計無しに如かず」

アングル「……僕は何処？」 迷走

【スッウツパア ラジカルツ タイツム】

マーベラス「終わんなあああああああああ！！」

終わります

雑談007 キャットの幻獣は何だ！？（前書き）

【スツウツパァ ラジカルツ タイツム】

【レエエエエツッ、ゴオオオオオ！！】

雑談007 キャツの幻獣は何だ！？

士「お前ら、前に俺がナノブラストメモリを造った事があるだろ？」

シャウト「おかげで映司がネタバレギリギリ所か本編での展開のせいでもはや確定でもいいんじゃない？みたいなナノブラストになり、アンコが精神的に大ダメージ受けたりと、厄介な事になったがな」

映司「……使ってもいいのかな？」 紫メダルを取り出し

シャウト「止めとけ」

ウヴァ「ママのメダルも手に入れたしな」 赤メダルを取り出し

アंक「……頂戴」 赤メダルを取ろうとする

アंक（右手）「俺のメダルだバカヤロウ！！」 2人を殴って取り返す

ナビィ「（チクシヨウマーベラス達が留守の所を狙いやがって……）」

エルダー「（見つかってない、見つかってないぞ絶対……！！）」
翔太郎の帽子の中に隠れてる

ユート「みんな、いいボールをみつけたぞ！！」 帽子をどけてエルダーを拾い

エルダー『えっ、ちょ』

士「面白い……、お前らに魔球を見せてやるぜ!!」 エルダーを
投げる

エルダー『マキシマアアアアアアアアム!!』 お星様に

シャウト「もやしノーコンだ!!」

ヤンガー『兄貴iiiiiiiiiiiiiiii!!』 離れた場
所から

エミリア「てかまだ生きていたの変態ブラザーズ？」

マーベラス「3ペアだ!!」 ポーカーしてる

最上「フルハウスだよマーボー井君、早く玄米茶を煎れたまえ」
余裕ぶっている

マーベラス「また負けた……」 落ち込む

ルカ「ホントよっわ」 ボロ勝ち中

スゴーミン『orz』

士「今回はな……、コイツだ!!」

【MIRAGE BLAST】

エミリア「もやし、まさか……私達をまた怪物にさせる気?」

士「話を最後まで聞け。それに安心しろ、今回はガジェットも用意した!その名も”魔ドゥー君”!!」

魔ドゥー君(以下魔ドウ) デイケイドの形をしたマドゥーグ

ナビィ『ネーミングダッサイ』 毒舌

士「行け、魔ドゥー君!」

魔ドウ『又オオオオオオオオオオオオオオオオ!!』 ヌイの形
になってナビィを焼く

ナビィ『ああああ……』 焼き鳥ならぬ焼きトリイ

士「魔ドゥー君はメモリを挿した人物にに応じて姿を変え、能力だつて様々な物を使えるガジェットだ。言っておくが、六幻獣なんて初步中の初步だぞ？」

鳴滝「ミラージュブラストとはヒューマンとニューマンがLv10以上になると使用出来る特殊能力。炎・氷・雷・土・光・闇の6属性を司る幻獣を召還し、彼等に攻撃をさせる。発動中は無敵の能力だ」

ウヴァ「因みに光の幻獣はニューマン、闇の幻獣はヒューマンしか召還出来ない特殊な幻獣だ」

カザリ「とかいって、それぞれ補助能力を与えるタイプだから攻撃はしないけどね」

鳴滝「しかしディケイドめ、紛らわしい物を造りおつて……」

おのれディケイドオ!!」

ウヴァ「本当にナルト野郎はディケイドのせいにするよな？」

カズマ「チーズ、何コレ？」 魔ドゥー君にメモリを挿す

士「馬鹿、下手に使うな!!それはまだ試作品」

魔ドウ『ボルボルボル』　カルボナーラの化け物になって襲いかかる

カズマ「ウエエエエエエエエエエエエエエエエー!!!!!!」

シャウト「カズマ、それって別世界のお前が作った奴だろ!? 作者がいたく気に入ってたぞ!!」

カズマ「チイイイイイイイズウウウウウウ!!」　土に泣きつく

魔ドウ・カルボナーラ『ボルボルボル』　蠢く

アंक「何やってんだお前ら?」　魔ドウ君のメモリを外してまた挿す

魔ドウ『コケコツコーツ!!』　鶏型になる

アंक「また鶏……」　落ち込む

ユウスケ「仕方無い、前（『ナノブラスト回』もお前鶏だったからな」

士「て事は百瀬は猫か何かだろうな」

百瀬「皆さん、おはようございます!」　アンの顔をして
ハイテンション

ユート「ちょっとまって、僕もつかってみるぞ!」　魔ドウ君を
使い

エミリア「……想像出来るわね」

士「ユート、お前の場合は分かり切っている。強いて土神様ドル・ヴァヘルが妥協
……」

魔ドウ「……」　ヘブンズマザーになった

一同『ウソダンドコードン!』

百瀬「ヘブンスマザーとはPSP02iのインフィニティミッションに出てくるボスの事で、グランツだけでこっちのHPを0にまで減らす程の力を持つてるんだ！」

比奈「お兄ちゃんが……2人……！？」

アंक「偽物は消えてろ！！」

タイガーオルフェノク「調子に乗るな人間が！！」 逆ギレ

キヨちゃん『……』 ミラージュブラストメモリによって神々しくなった

真木「キヨちゃんDX、降臨……」

鴻上「素晴らしい！！」 ケーキ食べてる

マーベラス「……」 ”私は負け組です”というプレートを首から下げ

最上「我が輩は上機嫌だよ、早く玄米茶を煎れたまえ」

ルカ「あっはっはっ、弱い弱い！」 ドS顔

スゴーミン『オラ……、田舎に帰りたい……』 椅子になっている

雑談007 キャツの幻獣は何だ！？（後書き）

後書き劇場

作者「今回カズマの幻獣であるカルボナーラもといボル子は、生みの親であるハルルさんからちゃんと許可を得てお借りしたので御注意下さい」

シャウト「でも消されたらどうする？」

作者「その時は開き直って書き直す」

裏アイム「駄目な椅子ねえ……」

スゴーミン『……逆らえないよう』 椅子になって泣きそう

ルカ「あっはっはっ、あっはっはっ、大笑いよー!!」

スゴーミン『助けて……』 椅子になってる

ハカセ「やめたげてよおー!!」

ジヨー「やっぱりルカには適わないな」

【スツウツパア ラジカルツ タイムム】

投票001 第1回人気投票 〰〰〰編 (前書き)

【スツウツパア ラジカルツ タイツム】

マーベラス「人気投票か、俺がぶつちぎりで頂くぜ!!」

シャウト「甘いな、1番は俺だ!!」

映司「別に1番じゃなくてもいいじゃん」

作者「勘違いしてるみたいだが……」

お前等の人気投票じゃないからな？」

一同『ウソダンドコードン!!』

【レエエエエツッ、ゴオオオオオ!!】

投票001 第1回人気投票 〵????編〵

作者「第1回チキチキ！キャラクター人気投票回〵！！」

ナビィ「解説はゴークアイジャーのトップアイドルであるオイラ、ナビィがするヨ〵！！」

さて作者、何でいきなり人気投票なんかするの？しかも……」

ワルズ・ギル「きつ、貴様等！何処から入って来たんだ！？」

ダマラス「お静かに殿下」

インサーン「これから行動隊長の改造で忙しいというのに……」

バリゾーグ「……」

ナビィ「何でよりによってザンギヤックなんか！？」

作者「第1回の人気投票は”海賊戦隊ゴークアイジャー”の敵組織、”宇宙帝国ザンギヤック”の初期幹部から投票を行います！！普通の人気投票だったらマーベラスとかシャウトとか出しますが、普通にはやらずに行いますよ！！」

ナビィ「（こりゃあ投票来ないぞ多分）」

作者「とは言え彼等はまだ影の薄いキャラであり、原作を知らない

とピンと来ないと思います。だからこのような流れで行います！

？各幹部の原作詳細（Wikipedia引用及び原作での現段階）
の後、作者流の崩壊した詳細を記入

？全員でアピール合戦

まあ簡単だと思うのでとつと行くぞ！！まずは現段階でザンギヤツクのトップ、ワルズ・ギル！！」

『司令官ワルズ・ギル』

ザンギヤツク皇帝の息子であり、その事を誇示しているので、かなりの我が儘でヒステリックで器の小さい性格。ゆえに部下からは冷やかな目で見られている、恐らく下剋上にあうだろう幹部。自分の体から血が流れているだけで「血っ、血だ！！」と大袈裟、あとパチャカマツク13世をともに発音出来ない

作者クオリティ 何か目論むも返り討ちにあい、「パパーッ！！」と某ス 夫みたいに叫ぶヘタレ

ワルズ・ギル『ひつ、酷すぎるっ！！何だこの紹介は！？ふざけているのか貴様！？』

作者「次はダマラスさんです」 無視

ワルズ・ギル『無視するな貴様っ！！』

『参謀長ダマラス』

ワルズ・ギルの補佐を務める参謀役。彼の性格に一番冷やかな目をしており、時々彼を見下す態度をとる。ハカセの事を「コイツは

どうでもいい」と言っで、全く敵にしていない。34スーパー戦隊の
大いなる力を探すゴークイジャーを危険視し、一時期は行動隊長に
大いなる力の先盗りを命じた事も

作者クオリティ　とりあえずワルズ・ギルの教育係と言つ名のお父
さんのポジション。たまにワイナールと意気投合

ワルズ・ギル『何故ダマラスの詳細は普通なんだ！？何故だ！？不
平等だ！！』

ダマラス『ワイナールさんと私って、共通点あるもんなあ……………』

ナギサ「ワイナール……、何だコレは？斬っても良いのか？」　シ
ヤウトのマイクを手に取り

シャウト「やめろおおおおおおお！！」　叫ぶ

ワイナール『駄目ゼツタイ！！返してあげなさい！！』

作者「続いてインサーン姐さんだ!!」

『開発技士インサーン』

幹部の紅一点でありマッドサイエンティスト。行動隊長に改造手術を行い、様々な武器を開発して与えている。その技術力は高く、ギカントホースに行動隊長やスゴーミンを巨大化させるレーザー砲を開発したのも彼女。時々ワルズ・ギルに色目を効かせるも、あくまで権力目当てであり本当に好意があるかは不明。恐らくダマラスと下剋上を考えている

作者クオリティ マッドサイエンティストの名に相応しく改造狂でDS。ワルズ・ギルのお母さんのポジションなのは間違いないだろう

インサーン『その体を是非私に改造されなさい!!』 スゴーミンに襲いかかる

スゴーミン『止めて下さいインサーン様!!オラにはそんな……アーツ!!』 改造される

ワルズ・ギル『（ガクガクブルブル）』

ダマラス『侵食されたか……』

作者「……最後はバリゾーグ様」

『特殊士官バリゾーグ』

ワルズ・ギルの右腕でもあり、剣の使い手でもあるサイボーグ。その為か、唯一幹部の中でワルズ・ギルに軽蔑をすることなく、彼を”ボス”と呼んで命令に忠実に従っている。正体は『シド・バミツク』という名前の生身の宇宙人でジョーの先輩。ジョーと共にザンギャックを裏切ったものの捕らえられて記憶を消された上で改造され、現在に至る。今後、狼鬼エンドになるのか スウグエンドになるのか、作者が一番気になるところ。

作者クオリティ 特に無し

狼鬼エンド 敵の呪縛から解放されて仲間になるパターン
スウグエンド 最終的に誰かに自分を倒させるパターン

ワルズ・ギル『待て待て待て待て待て待て待て待てい！！何でバリゾーグだけは原作通りなんだ！？』

作者「バリゾーグって声の人も唯一俳優ってか、先述した通り今後どちらの末路を辿るのか気になるってか、実際はバリゾーグをどう崩壊させればいいんだって迷ってて……。結局悩んだ挙げ句無しにした」

ワルズ・ギル『ふっざっけっるっなっ！！』 作者の頭をポカポカ殴る

ダマラス『お沈め下さい殿下！！』 ワルズ・ギルを押さえる

ワルズ・ギル『離せっ、離すんだダマラス！！』

改造スゴミン『……』 SUVウェポン（バズーカ系統全種）を

体の彼方此方に装備され凄い事に

インサン『さあ、次は誰かしら？』

スゴーミンS『（ガクガクブルブル）』

作者「次はアピール合戦です！とにかく自分をアピールして目立たせて下さい！とっととスタート！！」

ナビィ『ヒエエエエエー！！』 銅鑼を叩いたらその音にやられた

ウルズ・ギル『ハッハッハッ！！海賊共め、この俺に平伏S』

マーベラス「ウゼェんだよファザコン宇宙人！！」 ライダーキック

ウルズ・ギル『パパアアアアアアアアアアア！！』 お星様に

ダマラス『殿下も少しは地球の事を学びになれないとつたく………』

Weiner 「やれやれ……っ、ダマラスさん」

ダマラス 「あっ、Weinerさん」

ナギサ 「誰だ貴様は！？怪しい者だな！？斬る！！」　ダマラスの
背後に周り、ステイルハーツの刃を彼の首に向ける

Weiner 「ちよっ、バーカ！ナギサちゃんのバーカ！！」　慌てる

ダマラス 「ハッハッ、元気なお子さんで……」

行動隊長A 「ギャアアアアアアアアアアア！！」　改造される

行動隊長B 「ヒギャアアアアアアアアアア！！」　改造される

行動隊長C 「たっ、助けて……アッ！！」　改造される

インサーン 「フッフッフ、ハッハッハッ！！もつと良い声で叫んでええええ！！」　改造する

行動隊長D 「（ガクガクブルブル）」　怯える

バリゾーグ 「……」　料理している

ナビィ 「……バリゾーグが空気なんだヨ」

作者 「……やっぱり味出しているのはインサーンか」

作者「という訳で、人気投票を実行します！投票開始っ！！」

ナビィ『（多分票来ないヨ、あんな適つ当な紹介じゃ……）』

作者「因みに作者はダマラスが好きですね」

投票001 第1回人気投票 〰〰〰編〰 (後書き)

後書き劇場

作者「投票する場合は、感想からでもいいので

・好きな幹部

・理由(任意)

・その幹部に対する今後の期待(任意)

を記入してください。ただし感想で投票する場合、必ず”一言”欄に記入するようにして下さい」

ワルズ・ギル「恥を晒されたんだ、貴様等は必ず私を投票して”ワルズ・ギル様の不憫を無くして”と記入するんだな!!」

作者「期限は1週間までとします」

マーベラス「こんな馬鹿な連中ばっかだが、沢山の応募待ってるぜ!!」

【スッウッパァ ラジカルッ タイム】

雑談008 3人の姫はドSなんだ！？（前書き）

【スツウツパァ ラジカルツ タイツム】

作者「今回お見苦しい点があるので御注意下さい」

【レエエエエツツ、ゴオオオオオ！！】

雑談008 3人の姫はDSなんだ!?

若菜『園咲若菜の、フィーリングプリンセス! 今日も元気130%
でお送りします。今日は素敵なゲストに来て貰いました!』

アイム『ごきげんよう庶民の皆様、私はアイム・ド・ファミーユで
ございます』 笑顔で失礼な発言

薫『ええつと……、志葉薫です』

丹波『HI MEEEEEEEEEEEEEE!』

薫『丹波、黙れ』

シパーン!! ラジオなので分からないが、恐らく丹波の頭をハリ
センで叩いた模様

マーベラス「……これが地球のラジオって奴か、面白いじゃねえか」

翔太郎「フィリップ一生のお願いだ、若菜姫を俺にくれ!! いや、
下さい義理兄さん!!」 土下座

フィリップ「君に義理兄さんと呼ばれる筋合いはこれ1つとして無
いよ翔太郎」

ジョー「シド先輩シド先輩シド先輩……」 虚ろ目で花占い

ナビィ「ところで、あの3人って共通点あるヨね、君は分かったかな？」

シャウト「……姫繋がって奴か」

セイギ（ファンタ）「ついでにドSな一面が……」

シャウト「薰ってSじゃあ無いだろ？」

セイギ（ファンタ）「いやっさ、実は……」

薫「オラオラオラア！！もつといたぶつてやるうかあ！？」
竹刀

丹波「H I M E E E E E E E E E ! ! この丹波を
もつと罵つて下されええええええええ！」
縛られて吊されてる

セイギ（ファント）……！！
啞然呆然

士「……恐ろしいじゃないか。夏ミカンのファイナルツボ押しウエ
イブ並に」

夏海「私そんな事してませんよ!？」

シャウト「……嘘付け」

ナビィ
『嘘付け』

夏海「笑いのツボ!!」

2人(1匹と1体)に

[illegible]

ルカ「……アイルも最近裏が出てきたし、若菜は元からだし……」

ハルセ「この世界のお姫様って、一体何なんだろうね……？」

ジョー「シド先輩シド先輩……あああつ！！」
花弁千切り終えて
落ち込む

ルカ「シド先輩、どんだけ良かったのよ？」

ハカセ「馬鹿だよなへタレ・ギルは」

マーベラス「馬鹿王子が」

ワルズ・ギル「ファイヤートルネードッ!!」 噓

バリゾーグ「イーグルタイフーンッ!!」 噓

ダマラス「殿下!?!」

インサーン「バリゾーグまで噓をするとは……興味深いわ!!」
器具スタンバイ

バリゾーグ「アーツ!!」 恐らく改造された

ジョー「シド先輩の身に危険がつ!？」

ルカ「分かるの!？」

ハカセ「今回のタイトルさ、”カムバック!シド先輩”とかにした方が良い気がするんだけど」

マーベラス「お前ら、他にアイツ等のドSっぷり見たことあるか？」

フィリップ「……久しぶりに家に帰ったんだ。そしたら……」

フィリップ「ただい」

[illegible]

男A 「ああああああん！！なんか複雑つ！！」

被害者その1

男B 「でも若菜姫が間近で見られてめっちゃ嬉しい!!」
被害者

男C「若菜姫ええええ！もつといたぶってえええええええええええええええ！！」
被害者その3

「あ、あら来人、お帰りなさい」
霧彦の遺影を携えて登場

フィリップ「冴子姉さん、若菜姉さんどうしちゃったの？」

冴子「あああの下衆共ね。気にしなくて良いわ、ただのストーリーだもの」

若菜『アハヤヒヤヒヤヒヤヒヤヒヤヒヤヒヤヒヤヒヤヒヤ
ヒヤヒヤ……!』

フィリップ 「姉さん!？」

マーベラス」……恐ろしいな」

丈瑠「甘いな」登ってきた

ルカ「うっわー！変態だー！」

士「シンケンレッドか」

丈瑠「元な、どうせ俺は影武者なんだから……」落ち込む

シャウト「その後ドウコクに封印の文字を破られたショックで当主の座を降りた薫の養子になって、本当に志葉家の19代目当主になったのにな」

丈瑠「その後のレジエンド大戦でつい張り切ったせいで力失ったんだぞ……ハア。しかも……」落ち込む

丹波「姫、今日街で悪さをした男共を連れて参りました！」

薫「吊せ」

丹波『はっ！！』

薫『観念したか悪党共！！』 吊した悪党共の尻を木刀で叩く

男共『ギャアアアアアアアアアアアアアアア！！』

薫『もつと悲鳴を私に浴びせろ！！』

丈瑠『母上！？』

士『……恐ろしい』

ハカセ『アイムはアイムでこの前……』

雑談008 3人の姫はDSなんだ！？（後書き）

後書き劇場

〇〇〇シャウタ「あばばばばばばばばばばば！ー！」
いきなり
りタコレッグ連打

「マーベラス」出た、名付けて”あばばばネバー・エンド”
「！！」

ゾドマス『おおおおおおおおおおお！！』
ゴーカイ

ルカ「出た、名付けて”面倒臭い剣攻撃”！」

ハカセ「どっちが勝つのか気になるゝ!!」

士「くだらないな」

丈留「いーいーな、いーいーな、力があるっていーいーなあ……」

「ジョー、シド先輩……俺の手作りチョコを受け取って下さい……」

バリゾーグ 誰だ貴様！？

アंक「ジョーの奴、とんでもない世界に入ったな」

【スツウツパ
ラジカルツ
タイム】

雑談009 ジェラシットの嫉妬物語（前書き）

【スツウツパア ラジカルツ タイツム】

【レエエエエツツ、ゴオオオオオ！！】

雑談009 ジェラシットの嫉妬物語

マーベラス「戦う交通安全!!」

ゴーカイ『激走戦隊!カアアアレンジャー!!』

その他一同『……?』ポカンとしている

鴻上「別の戦隊を名乗るだなんて新しい!!」 ケーキ作っている

恭介「オツケイ!!」

映司「……マーベラス君、どうしたの!？」

マーベラス「……映司、あの地球人に刷り込まれたんだ。あの後ナビが精神の鎧を纏って来るまでずっとやらされてな、しかも変身(ゴーカイ)って、公開処刑だろ……」泣きながら恭介を指差す

恭介「だって俺、激走戦隊カーレンジャーのレッドレーサーだったんだもん」レッドレーサーの面影がうつすらと現れる

魁「言っておくけど陣内先輩はな、俺達よりも遥かに上だからな?走先輩よりも偉いぞ?」

恭介「よし、今日はみんなで交通安全教室だ!!」

ゴーカイ『イヤアアアアアアアアアアアア!あんな役立たずの大いなる力を入れたんだからもういいって!!』

恭介「因みに断ろうだなんて不抜けた事ぬかしたら、波拳の刑だからな」

一同『中の人ネタ乙』

インサーン『うふふ……』 恭介に夢中

ワルズ・ギル『ああ、目眩がする……』 目頭を抑える

バリゾーグ『ボス！？』

ジェラシット『ジェラ嫉妬おおおおおお！！』 包帯巻いた大剣携え、何処かに行く

ダマラス『中の人ネタ乙』

夜

ジョー「（-|-）zzzz」 腹筋姿勢のまま寝てる

ハカセ「（-|-）zzzz」 コアラの要領で柱にしがみついたまま寝てる

ルカ・アイム「（――）ZZZZ」共に寄り添いながら寝てる

マーベラス「うつつ……交通……安全……」
魔される

恭介「グカーケケケツ……」
 𪛗かいてる

ジェラシット「これで貴様を永遠の眠りに着かせてやる……」

【NIGHT MEA】

夢世界

恭介「よい子のみんなー、楽しい交通安全のお話をするよー！！ち
ゃんと聞かないと 動拳の刑だよー！！」 紙芝居携え

「**ジエラシット**」**必殺、超究武神霸斬！！**
大剣を掲げ

マーベラス「中の……人……ネタ……乙……（ーこ）zzz」木の
上で寝てた

「ジェラシット、死ねえ俺の恋敵iiiiiiiiiii! !」

石田「I i E Y a A S u U U U U U U U U U U ! !」
剣を振り
回しながら走り回る

徳川「三成iiiiiiiイイイイイiiii!」
右拳に力を溜め

ジェラシット「貴様等どけ!!」

恭介「『黄色信号助さん、付き合ってください!!』赤信号子が言いました!しかし!」駄目だ赤信号子さん、俺には青信号美がいる」黄色信号助は断った。その時!『ちよつと赤信号子、あたしの黄色信号助さんに何するのよこのメスブタ!!』オカマの青信号美がやって来た!『うっさいわね、黄色信号助さんは私の物よこのオカマ野郎!!』『お黙り!!あたしは女よ、ニューハーフよ!!』『オカマだろうが!!』『2人共、俺の為に争わないで!!』赤信号子と青信号美が喧嘩を始めた!」力がこもった紙芝居をしてる

ジェラシット『なっ、何て紙芝居なんだ!?泥沼に嵌っている……!!!』

石田「貴様を許しはしない!!秀吉様に懺悔しろ!!」

徳川「俺は負けん!!俺を信じている者達の為に!!」

ジェラシット『黙つとけ貴様等!!炎のジェラシーパワー!!』
炎を纏った大剣で斬りつける

徳川「グアアアアアアアアアアアアアア!!」 やられた

石田「I i E Y a A S u U U U U U U U!!」 やられた

ジェラシット『気を取り直して……必殺、超究武神霸斬!!死ねえ!!!』

比奈「お兄ちゃんの馬鹿、ふにゅー!!」 そこいらの巨大岩を投げつける

信吾「比奈ああああああああああ!!」 マトッ

ク　みたいにかわす

ジェラシット『グヘッ！！ギャアアアアアア！！』　岩が当たり、吹き飛ばされる

恭介『仕方ない、俺が真ん中になってやるよ』　黄色信号助さん……』　『キヤーッ！！黄色信号助さん素敵ーっ！！』　こうして黄色信号助は青信号美と赤信号子の真ん中に入る事で、無事信号が形成出来ました。めでたしめでたし」

子供達「わーっ！！」　拍手喝采

ジェラシット『わーっ！！せふいろす！！』　SPD地球署に激突

ジャスミン「はい、御用」　ジェラシットにワッパーを付ける

朝

ジェラシット『……』　頭に”H”の痣がある

マーベラス「……何だコイツ？」

ジョー「今日は粗大ゴミの日だな、捨てとくか」

インサーン『うふふ……』 恭介に夢中

ワイナール『昨日からあぁなんですか？』

ダマラス『ははっ、お恥ずかしいながら……』

バスコ「……マベちゃん元気かな？」

ガメル（人間態）「パパ、なにこれ……？」 紙切れを渡す

メズール（人間態）「”次回に続く”……、帰ったらウヴァとカザリをお仕置きしないとね」

バスコ「よし、飛ばすぜ!」

バスコ「本編で死んだはずのガメルとメズールと行動する男の正体は一体!? 次回に続く……かも」

ジェラシット『ジェラ……嫉妬……(-_-) z z z』

雑談009 ジェラシットの嫉妬物語（後書き）

後書き劇場

ジョー「現在ラジカルタイム豪快DXでは、ゲスト出演してくれるキャストを募集している。但し扱いは皆無、場合によってはそのキヤラ本来の設定を無視したりするかもしれない。つまり飛び抜けて活躍するという事は無い、例えるなら某長寿番組で”そうですね！”と言う位だったり特撮作品で怪人から逃げる人々だったり、怪物と戦うものの直ぐにやられるような扱いの、完璧にマジックショーのサクラみたいな感じだ」

ハカセ「それでも良いというキャラは

・キャラ名

・登場作品名（作者名と共に紹介するので）

・能力（1つ限定）

・どっちにするか（DかBのどちらかを選ぶ）

を記入して、ユーザーの方は作者のメールボックスに送って下さい。感想でも受け付けますが、作者曰わくユーザーの方は出来るだけメールボックスだと嬉しいそうです」

ルカ「因みに最後のDとBに関しては、ゴークイ15話（予告）とデイケイドを知っていたら大体は理解出来るらしいよ？」

アイム「飛び抜けての活躍は出来ないようですが、それでも良い方は是非送って下さい」

マーベラス「ついでに前の人気投票の結果だ

・バリゾーグ

・インサーン

この2人に各1票だ。やっぱり全然来なかったな」

作者「次回もお楽しみに」

【スッウツパァ ラジカルツ タイムム】

雑談010 セクハラ常習犯と二番膳じと海賊料理（前書き）

【スツウツパア ラジカルツ タイツム】

【レエエエエツツ、ゴオオオオオ！！】

雑談010 セクハラ常習犯と二番膳じと海賊料理

マーベラス「……嫌な予感がするな」

海東「奇遇だね海賊君、僕もそう感じるんだ」

ナビィ『さっき占ったら”赤い海賊に災い来たり”と出たヨ』

レン（ゴッド）「この中で赤い海賊と言えるのは、マーベラスさんと（コスプレだけど）シャウトさんでしたよね？」

ウヴァ「……」 いじけてる

シャウト「理由は分かる、あえて言わないけど分かるからな」

フィリップ「見た所まだ大丈夫そうだけど……」

エミリア「結構嫉妬深いのねあの虫。名前は”奪う”から来てるのに」

マーベラス「何なんだ、この胸騒ぎ……!？」 尻から何やら嫌な感触を感じる

「やあ愛しのマベちゃん、会いに来たよ」 さり気なくマーベラスの尻を触っている

『キヤアアアアアアアアアアアアアアアア！』 恐らくマ
ーベラスの叫び声と思われる

ジョー「……美味しい」 おでん食べてる

ルカ「スッゴい美味しいわねこのおでん」 おでん食べてる

アイム「コレが地球の庶民の食べ物ですね」 おでん食べてる

伊達（〇〇〇）「美味しい！！」 泣けてきている

ハカセ「でも何で具が３つと少ないんだろう？」 おでんを眺め

ソウジ「それが天堂屋の味だからね」

ナギサ「所で今誰か叫ばなかったか？」 バイト中

一同『さあ?』

バスコ「いやゝ、痛いじゃないのマベちゃん」 頭にタンコブ作って柱に縛られている

サリー『ウキウキ』 頑張って縄を切っている

マーベラス「人のケツを触っておいて何親しげに話してんだ!? バスコ・タ・ジヨロキア!!」

海東「知り合いかい海賊君?」

シャウト「確か宇宙最大のお宝欲しさに赤き海賊団を裏切った奴だったっけ?」

エミリア「それって本編設定でしょ? この小説じゃあ本編の理屈なんて通じないわよ」

レン(ゴツド)「前にもやしさんがナノブラスト出来るメモリ造りましたからねえ……」

マーベラス「……教えてやるよ。コイツは俺達を裏切っただけじゃない!!」

赤き海賊団の頃から俺を追っかけ回していたストーカー兼痴漢野郎なんdあひゃん!!」尻を触られる

バスコ「ストーカー兼痴漢だなんて失礼だな、マベちゃん（の尻）は俺のお宝なんだよ？不等式で表すと

赤き海賊団<宇宙最大のお宝<マベちゃん（の尻）

と表されるsゴフツ!!」タンコブに衝撃を受ける

シャウト「コイツ……ヤベえぞ!!」どうやらマイクでトドメを刺した模様

エミリア「今からSPD呼ぶわよ!」ケータイ取り出して

マーベラス「良くやった」

フィリップ「バスコ・タ・ジョロキア、君の事は閲覧済みさ」

海東「長くなるなら止めたまえ」

メズール「ただいまカザリイー！」 カザリに（マントで）首締め
の刑を実行中

ガメル「ママ、アंक、ただいま……」 ふ菓子食べながら

カザリ「苦しいよパパ……」 魂抜けそう

アंक「……ガメル伯父さん？」

アंक「久しぶりだな」

ウヴァ「パパとガメルが怖い……」 怯えてる

カザリ「ウヴァ助けて、パパに殺される……」

アंक「ガメル、パパは一体三途の川で何をしてたんだ？」

バスコ「マベちゃんマベちゃん。俺さ、面白い物持ってるんだよ」

マーベラスの尻を触りながらラッパッター取り出す

マーベラス「人のケツを触りながら言うなセクハラ野郎！！」

海東「それは”ラッパッター”という大したお宝じゃないか、是非僕に渡したまえ」

バスコ「コレ渡したら俺のアイデンティティが本編では”悪党”、小説では”変態”だけになるからヤダ」　　ゴカイ本編のバスコはパーフェクト悪役です

ナビィ『そう言えばさっき占ったら”青き泥棒に被り現れる”って出たヨ』

シャウト「大体分かった。今回ゲストが来るって言うのにまだ来ていない理由が分かった」

バスコ「その通り、と言う訳で……」　　緑のレンジャーキー1本、ラップラッターに差し込む

レン（ゴッド）「でも戦隊のゲストなんてまだ来てませんよ？」

海東「大丈夫だよ神器君、この小説は理屈が通じない小説だろ？つまり戦隊でもライダーでもないゲストを呼べるんだ。丁度同じような物を僕も持ってたんだよ、と言う訳で……」　　カード1枚ディエンドライバーに挿入する

フィリップ「ゾクゾクするねえ……」

海東・バスコ「と言う訳で、今回のゲストGO！」

【SYOSETU RIDE LALF】

エミリア「しっかしゲストの呼び方どうかと思うわよ？」

ドルク「聞きてえか？聞きてえよなあ俺の事 俺はドダイトスの
ドルク！探検隊ブレイブのリーダー兼ギルド『ブレイブ』の親方だ
！テメエ等のハートに刻んどきな！！」 ラッパラッターから登場
マーベラス「……あの悪魔じゃねえか」

カザリ「あつ、師匠……」 首絞められてる

メズール「あらカザリのお友達の……」 カザリの首絞めている

ドルク「おうカザリじゃねえか！久しぶりだなんて、何俺の仲間に
首絞めしてんだ！？」 いきなりメズールに攻撃

メズール「怨念というか、恨みつてのは怖い物よ！！」 水流発射

【アアアアアバレンジャアアアア！！】

ゴーカイR「アバR」ガレオン内で暴れるな！！他所でやれ！！」

アバレモードで乱舞

ラルフ「俺は………宇宙人だ」 ディエンドライバーから召還さ
れた

翔太郎「う、ウソだろオイ？」

ラルフ「うん、ウソ」

翔太郎「てめえ！」

エミリア「あゝ、確か餅を喉に詰まらせて窒息死して某黒い球に呼ばれた……」

ラルフ「……こっちのお前も酷いな」

エミリア「最終的に死んだもんねあんた」

ラルフ「言っなー!!」

フィリップ「今回のゲストについて順番に紹介すると……、フォック・リザハート様の【ポケモン不思議のダンジョン ブレイブトレジャーズ】の”ドルク”と、キングオブただの人様の【PHANTASY STAR GANTZ PERFECT ANSWER】の”ラルフ・ガイ”。君達の事は検索済みさ。因みにラルフ・ガイに関しては、作者であるキングオブただの人様から”マーベラス並みに不憫にして良い”と許可が下りている」

ラルフ「ナツ、ナンダッテ!？」

ナビィ『と言う訳でゲストも来ているし、折角だからマーベラスとバスコとアカレッドとオイラが仲良かった頃の十八番料理を振舞うヨー!!』

マーベラス「それは別に構わないけど……」

バスコ「それいいねナビィ、コレで仲戻そうよマベちゃん」

シャウト「十八番料理って？」

ドルク「何だか知らねえが、美味そうじゃねえか！」

マーベラス「俺の台詞を奪うな！……調理中にケツ触るなよ？」

バスコ「俺が何時調理中にマベちゃんのケツを触ったの？」

マーベラス「毎回だろ！！毎回俺のケツ触ったせいでアカレッドを半死半生の目にあわせただろうが！！例えば……」

バスコ「俺のお宝ーっ！！」 マーベラスの尻に飛び込む

マーベラス「あっひゃん！！」 持っていた包丁が宙を舞う

アカレッド「ギャーッッッッッッッッッスー！！」 包丁
が頭に刺さる

2人「アカレッドオオオオオオオオオオオオオオオオ！！」

ナビィ『血っ、血があああああああああああ！！』

エミリア「……どんな調理風景よ？」

ナビィ『オイラも（一応）被害者でね、アカレッドはマーベラスに調理を頼まなくなったんだ。別に下手だからじゃなく、バスコが危険だから……』

マーベラス『おい！！パスタ湯で時間過ぎてるぞ！！』 何か炒め
ている模様

バスコ『ホントだ！！あつちい！！』 パスタ鍋を素手で持った模様
マーベラス『いいか、ぜつつつつつつつつつつつたいに
触るなよ！！いいな！？』 何か切る模様

バスコ『ハイハイ……隙ありiiiiiiiiii俺のお宝あああ
あああああああああ！！』 隙についてマーベラスの尻を触る

マーベラス『あつひゃん！！』 包丁2本マツハ3の速度で飛ぶ

ラルフ『うわっ！！……スーツがやられた！？』 かわしたがガ
ツスーツが挟れた

ドルク「何っ!？」

木の枝が一本持つてかれた

シャウト「ギャアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアア！」　マイクに刺さる

レン（ゴッド）「マッハ3の速度ですよ？」

フィリップ「彼は尻を触られると超人的な力を発揮するようだ。興味深いねえ……」

スコーン！！

真木「キヨちやああああああああああん！！」

キヨちゃん「オ……オノレディケイドオ!!」

頭に包丁が刺さる

ナビィ「出来たみたいだヨー！！オイラ達”赤き海賊団”の十八番料理、”赤き具材の海賊グラダンスパゲッティ”。赤色ばかりだけど結構美味しいヨー！！」

マーベラス「バスコめ、また尻を触りやがって……」

バスコ「マベちゃんの尻は俺の物だもん。まあ食ってみろ」

一同『いただきます』

エミリア「辛っ!!」

レン（ゴッド）「ゲホッ！！ゲホッ！！」
咽た

フィリップ「これは……何たる辛さだ!？」

海東「痛い痛い痛い痛い！」

シャウト「アーツ!!」
悶える

カザリ・メズール「辛ええええええええええええええええ！」

ガメル「……」
顔が辛そう

「アンク・アンク」「辛いかな?」「普通に食べてる」

ナビィ「だって火属性だもんネ」

ドルク「美味いんだけどなあ……辛っ！」

ラルフ「ウソダンドドコドーン！」
火を噴く

マーベラス「……嘘だろ？ 幾ら隠し味にカレー粉小匙1杯と唐辛子大匙2杯とハバネロ少々入れたからって、こんなに辛くはないだろ！？」

バスコ「一体誰が……ん？」

サリー
『ウキ』
舵輪を指差す

「ウヴァー（この特性激辛ラー油を入れたんだ、悶えない訳がない……）」

マーベラス・バスコン「クサマカア！キサムガミンナヲオ！」
「ゴーカイサーベルで斬り裂く」

「うづあ ああああああああ！」

アカレッド「どうだ、赤き具材の海賊グラダンスパゲッティ」

赤戦隊「オンドウルラギタンディスカーツ！！」

全員火を噴く

丹波「HIMEeeeeeeeeeeeeeeee
eee!!」体中汗塗れ

魁「辛いよアカレッド!!」

バン「こんなの食えるか!!」

ジャン「ウマウマだけどカラカラだ!!こんなの食えない!!」

走「こんなの食っていたのか!？」

薫「海賊共の考える事は理解できない!!」

恭介「アーツ!!」 辛すぎて高 ニダンス

赤戦士『恭介先輩!？』

ジャン「恭介、ビバビバだな!!」

アカレッド『辛い?……ギャーツス!!』 火を噴く

アラタ「アイス買ってこようか?」

雑談010 セクハラ常習犯と二番膳じと海賊料理（後書き）

後書き劇場

映司「第2回チキチキ！人気投票〜！」

比奈「今回の投票はみんな大好き”グリード一家”です！前回同様に投票して下さい。今回は”本編枠”と”小説枠”の2つに投票して下さい。因みにエントリーは

- ・アंक
- ・ウヴァ
- ・カザリ
- ・ガメル
- ・メズール
- ・アंक

です」

後藤「因みに0票若しくはビリのキャラには、活動報告内で罰ゲームが待ってます」

里中「期間は1週間までとします。皆さん御願います」

知世子「沢山の応募、待ってるわよ」

鴻上「Happy Birthday!!」
【スッウッパ ラジカルッ タイム】

裏雑談001 赤の本音開き会（前書き）

【スツウツパァ ラジカルツ タイツム】

【レエエエエツツ、ゴオオオオオ！！】

裏雑談001 赤の本音開き会

ナレーション
作者「様々な戦士が密かに集まるカフェ”Akared”。今宵、
どんな物語が生まれるのでしょうか？では、覗いてみましょう……」
カランコロン

アカレッド「いらっしやいませ」

暁^{さくら}「皆集まっているじゃないか」

魁「あつ、暁さん御久し振り。レジェンド大戦以来でしたっけ？」

バン「あの戦い以来、皆して力失ったからなあ……。ファイヤース
クワットに昇進したってのに……」

魁「いやいや、俺なんてインフェルシアの親善大使っスよ？スフィ
ンクスもバンリキュアも魔法使える中でただ1人魔法使えなくて、
ホームに近いアウェイと言うか浮いている存在というか……」

恭介「俺なんて会社辞めて俳優やってるんだぞ。まあ子供達に交通
安全を教えるような感じだけど……」 ビール飲みながら

走^{かける}「そっぴや陣内先輩、会社時代の給料っていくら位でしたっけ？」
動物の写真を見ながら

恭介「毎月19万3千円だったな。それなのにダップの奴が『ボクと契約してカーレンジャーになってよ!』と言ってだな、今思えば波拳でも喰らわせれば良かったな……」

走「それ別作品ですよ先輩」 苦笑い

薫「（折角丹波を縛ってまで来たのに、なんか居づらいな……）」
唯一の女性

ジャン「ウマウマだ!」 麻婆豆腐を食べてる

亮「上手いだろ!」 中華鍋振るい

剛「……やっぱり良いなあ、こういうの」 カクテル飲み

アカレッド「こっやって集まるのは初めてですからね、海城さん」

バン「俺思ったんですけど……陣内先輩、あんたOB回の時確実に俺等より出過ぎですよね?」

恭介「パウレン（海外版スーパー戦隊）パワーレンジャー」の略称、ストーリー・設定共にオリジナル要素が多い。”恐竜戦隊ジュウレンジャー”のリメイクから始まり、現在は”侍戦隊シンケンジャー”のリメイクを制作している。因みにマジレンVSデカレンに

出たデカレッドバトライズドアーマーは、デカレンジャーのリメイク作”パワーレンジャー S・P・D”から逆輸入したとか）吹き替え持ちが何を言う！？お前原作通りレッドの吹き替えだろ！？」

魁「それ、先輩もやりましたよね？てか」

亮「海外版なんてクソくらえ……ハハッ」 落ち込んでいる

剛「初代だったんだ……、戦隊に入らない説もあるんだ……」 上に同じ

暁「大先輩がいるってのにそういう話は……」

薫「海城殿はともかく、天火星殿は完全にハブられましたからねえ……」

走「実際はキバレンジャー以外がハブられた。ティラノザウルスが龍星王になるような、恐竜から気伝獣に変化する演出には驚いたよな。唯でさえ初期の5機の中で龍星王だけが人型形態になるだけでも驚きなのに……」

亮「カクレンジャーなんか……えぐっ、”エイリアンレンジャー”とか何だか知らない奴等でちゃんとスーツ使ってたのに、何だあの待遇は……ひぐっ、海外の奴等絶対キバレンジャー以外のダイレンジャー知らないぞ……」 泣いている

ジャン「俺は緑ピカの方が好きだぞ」 緑ピカ「ドラゴンレンジャー（ジユウレンジャーの追加戦士）」

アカレッド「そう言えば……」

・ターボ（カーレンジャー）　ブルーが少年
・ワイルド（ガオレンジャー）　変身シーンが日本版流用
・S・P・D デカレンジャー ボスの名前が同じ（でも見た目は犬と爬虫類がデジクロスした感じ）
・ミスティック（マジレンジャー）　レッドがウルザード（ファイヤー）化
・ボウケンジャー OOD　ズバーンおまww
・ジャングル（ゲキレンジャー）　変身アイテムが……
・サムライ（シンケンジャー）　ロボット乗った時スーツがやたら格好よく変形
だった気が……」

暁「そういや、ゲキレンジャーの変身アイテムって海外版はサンダラスだったよな……」

ジャン「ゲキチェンジャーいらないのか？」

バン「SPDも日本版は”Special Police Deck
arranger”の略称なのに、海外版では”Space Patrol
Delta”の略称だし……いやっ、どっちかと言うと海外版の方が格好良いんですけどね」

暁「てかズバーンどうしたんだ!？」

ズバーン「ボクは大剣神ズバーン!」

暁「おまつ、喋れるのか!？」　ズバーンは喋れません

ズバーン「美しい心の持ち主には聞こえる!」

暁「そうか！俺の心は美しいんだな！！」

ズバーン『世界一料理が上手いのは、天火星・亮様だ！そして海外版なんてクソ喰らえだ！』

暁「……えっ、亮先輩？」

ズバーン『NO！！リピートアフターミー！！』

亮「亮様！！」 カウンターの裏で喋っていた

暁「りよっ、亮様……」

走「亮先輩ナニシテルンデイス？」

恭介「俺さ、一体誰と結婚すればいいんだ？」 頭を抱える

バン「ウメコと結婚したくせに何言ってますか？ジャッジメントしてデリートしますよ！！？」

剛「中の人の話はよせ」

魁「ウメコ先輩って、確か某永遠の10歳のパートナーポケモンの退化態ポケモンになって、宇宙警察なのにポケモンだけの世界で某永遠の5歳児の母親が変身した鳥に捕らえられた……」

走「中の人ネタはよせってお前等……」

薫「話が反れてしまいますね……。で、いきなりどうしたんですか？」

恭介「いや、最近ザンギャツクの女幹部に一目惚れされてな。唯でさえゾンネットにも一目惚れされているのに……」

ジャン「今頃ウーチュウで婿取り合戦してたりしてるんじゃないか？ワキワキそうだなあ……」

ウィチュウ空間

ゾンネット「なに人のフィアンセ奪おうとしてるのよ!？」
バイ

インサーン「フッフ、御免あそばせ」
船動かし回し

ベルゼブモン（クロウオ）「orz」
宇宙空間で落ち込む。恐らくゾンネットにバイク奪われた模様

タイキ「ベルゼブモオオオオオオオオオオオオン!!!」

キリハ「あのベルゼブモン、少なくとも本物（ティマーズ及び七大魔王時代）じゃないだろうが」

剛「俺、何時陽の光を浴びる事が出来るのか？」

魁「あんたは映画にも出るんですからいいじゃないですか？俺なんてフレイジェルが居なきゃ何も出来ないんですよ？」

バン「俺なんて赤なのに最後の方しか出なくて、最終的にボスだけ目立ったような物ですよ？」

走「俺なんて決め台詞勢い良く言う物なのに、ゴーカイでは一応“獣医”って言ったのになんか冷静すぎる……。持ちネタ無視されて……」

暁「俺なんて映画出ても恐らく一瞬だけかもしれない……」

ジャン「案外俺は何も不満なさそうに思えるけど、7話でのゲキレインジャーの豪快チェンジが他のと違って特別演出無かったんだぞ？シオシオだ……」

薫「皆さんレギュラーだったから良いですよ？私なんて終盤の方からのレギュラーなのにゲストみたいな扱いですよ？平成レッドの名もアラタに取られ、初の女性レッドと言っても変身回数は少ないですし……」

亮「海外版持ちが、偉そうな事をほざくな!!」

アカレッド「……だからなんだ？私なんてレギュラー持ちじゃないし海外版に出てないしゴーカイでは死人かもしれないし、最近なんか某虫ポケモン使いの見た目が変態そうなジムリーダーやって、作者にたいそう驚かれたし……」

剛「俺なんて1話ちよつとしか出てないんだああああああああああああ!!」 アカレッドを殴る

アカレッド「殴ったね！？親父にも殴られた事がないのに!!」

他全員「中の人ネタ乙!!」

作者『……次回はどんな風に盛り上がるのでしょうか?』

裏雑談001 赤の本音開き会（後書き）

後書き劇場

映司「同時進行で第3回チキチキ！人気投票」

比奈「今回は話に出てきた赤い戦士達です

・小津魁

・バン（赤座伴番）

・漢堂ジャン

・獅子走

・志葉薫

・陣内恭介

・天火星・亮

・海城剛

・アカレッド

です」

後藤「今回もビリ若しくは0票には罰ゲームがあります。期限は1週間です、沢山の応募待ってます」

【スッウッパァ ラジカルッ タイムム】

投票002 宇宙海賊VSパンツ男(前書き)

【スツウツパァ ラジカルツ タイツム】

【レエエエエツツ、ゴオオオオオ!!】

投票002 宇宙海賊VSパンツ男

ナビィ『緊急特別企画、第4回チキチキ！人気投票！！その名も、
”仮面ライダーVSスーパー戦隊 オーズVSゴーカイレッド 投票大戦2011”！！』

一同『イエーイ！！』

マーベラス「……お前らは良いよな、投票枠に入って無くてよ……」

映司「マーベラス君と対決……？」

鎧^が「作者に替わって、今回の進行は俺が行います！！因みに俺の名は伊刈鎧！！スーパー戦隊を愛する男であり、そして海賊戦隊ゴーカイジャーの新しい仲間”ゴーカイシルバー”です！！」 自己紹介

凱^が「貴様、後で殴ってやる……」 背後から黒いオーラ

鎧「（ギクッ！！）……こっ、今回の人気投票は何時もの人気投票と違って、1VS1の戦いになっています。原作・今小説及び今回の話を基準に人気投票をして、最終的に人気の無かった人物に罰ゲームが行われます。今回は事前に罰ゲームを決めます。今回の罰ゲームは……ウエエエエエエエー！！」 ダーツを投げる
スコーン！！

ナビィ『ギャーッス！！』 ダーツが刺さる

バスコ「ナビィに刺さった。ええっと……」

”火野映司の場合は映司バンツの明日1年分、キャプテン・マーベラスの
場合はお宝が入った宝箱、勝った場合に貰える景品を目の前で爆破
した後、最も嫌な人物と24時間過ごす”だって……（ん？とい
う事はマベちゃんおたが負けた場合、高確率で俺と！？……マベちゃん
の尻触り放題ジャマイカ！！）”

マーベラス「嫌だああああああああああ！！（バスコと
24時間過ごすとか、俺が替わりに爆破したほうがマシだ！！）」

映司「……………！！（俺の明日もだけど、あの馬鹿親父と馬鹿兄貴共と
一緒だなんて……………！！）」

アंक「くつつつつつつつつつつだらない！！」　アイス食
べてる

鎧「あつ、嫌なら」ユニコーンヤミーに自分の夢を壊させる”って手もあるみたいですよ？^{ユニコーンヤミー}本人も”今度こそはあのパンツ男の夢を爆破出来る”って……」

後藤「いやっ、そんな事したらああなりますよ!？」 指差す

比奈「映司君、好きな物が好きじゃ無くなってきちゃった……」
様々な洋服を切り裂いている

シャウト「やああああめてええええ!! オーダーメイドなのにいい!!」 コスプレが切り裂かれている

シズル「やめてください比奈さん!!」 服が切り裂かれパンツ一丁

ナビィ『貰った服がああああああああ!!』 泣き叫ぶ

セイギ（ファンタ）「ポケモンだけど裸体になんか慣れてないのに……!!」 今にも泣きそう

公磨「一張羅なのに……!!」 パーカーやられた

裏アイム「……!!」 上着が切り裂かれて裏状態

鎧「……怖っ!!」

後藤「普通に考えて、やはり最初の罰ゲームが良いですって……」

ウルスラ「私に喧嘩売ってるよねあれは」 個人ブランド持ち

この後、比奈は一時復活した信吾によって落ち着きました

ナビィ『うつっ……』

とっ、とにかくマーベラスと映司にはアピールして貰うヨ……うつっ
『っ』

マーベラス「（正直映司には悪いが……）」

映司「（マーベラス君には悪いけど……）」

マーベラス・映司「（負けられない！！）」

（10分後）

鎧「それではアピールタイムに入ります！！最初の候補は……キャプテン・マーベラスさんです！！」

マーベラス「邪魔するぜ地球人共。俺はキャプテン・マーベラス、海賊戦隊ゴーカイジャーの船長だ！！宇宙最大のお宝を求めてこの星にやって来た、通りすがりのスーパー戦隊だ！！てめえらのハートに刻んどきな……。懸賞金は500万^{ザギン}、金が欲しい奴は何時でも来な！！相手してやるぜ！！」

ハカセ「ご飯出来たうわあ！！」 躓いて鍋が宙を舞う

マーベラス「あっちい！！」 鍋が頭に落ちる

士「流石、不憫さをアピールしてやがる……」

シャウト「あつ、蠅だ」 飛んでいる蠅にマイクを振り下ろす

マーベラス「とつとにかく……俺達は何時でも派手に行くからんギ
ヤアアアアアアアアアアアア！」 マイクを喰らう

鎧「しゅーりょうー！ってか誰かマーベラスさん連れて行って！
」

公曆「じゃあ俺が……（一刻も早く出よう）」 マーベラスを（病院へ）連行

シズル「……誰か僕に服を下さい」 未だにパンツ（正式には海パン、ていうかビキニスィムウェア）一丁

鎧「続いては、火野映司さんです！-」

映司「やあみんな。俺の名前は火野映司、ちよつとのお金と明日のパンツさえあれば生きていけるんだ。彼方此方旅をしていたんだけど、ちよつとした理由で日本に戻ってきて最近はクスクシエっていう多国籍料理店で住み込みバイトしているんだ。好きな物は揚げ饅

頭、嫌いな物は蛇かな」

セイギ（ファント）「至ってシンプルに自己紹介しているね。マーベラスさんと違って安定しているというか……」

後藤「……そうだな」

シャウト「このままなら勝利は映司かもな。アイツ、マーベラスよりも多く出ているし、印象はある方だろ……」

映司「因みにもし俺のパンツに手を出そうだなんてふざけた真似（あした）しようだなんて考えたら、覚悟していてね」　なんか黒い笑顔（逆に怖い）

シャウト「……前言撤回、マーベラスにも勝ち目あるなコレ」

セイギ・後藤「「だな」」

鎧「しゅーりょうー!!」

鎧「さーで、今回は誰に投票が入るかな？みんなの応募、待っているよー!!」

投票002 宇宙海賊VSパンツ男（後書き）

後書き劇場

公磨「そついや、今日（6/19）はニチアサやってなかったよな。6時からゴルフやってたから」

マーベラス「あれが噂のニチアサの敵って奴か、ム力つくじゃねえか！！」

ワルズ・ギル『おのれ、おのれ、おのれ！！この俺の華麗なる勇士を地球人共に見せる事が出来なかったではないか！！』

マーベラス「おい馬鹿息子、ここは結託してゴルフを潰すか？」

ワルズ・ギル『いいだろう海賊共！！ニチアサの敵は誰だろうが潰すのみだ！！』

【メゾフレーション！】

公磨「メゾフレーション！！」

真朱「スコーチド・アース！！」 強力な炎を放つ

マベギル「『ヴエエエエエエエエエエー！！』」

公磨「……潰すだなんて無理だから」

【スツウツパァ ラジカルツ タイムム】

雑談011 アンク搜索大作戦(前書き)

【スツウツパア ラジカルツ タイツム】

映司「全体的に意味不明だから注意してね」

【レエエエエツツ、ゴオオオオオ!!】

雑談011 アンク搜索大作戦

比奈「みんな大変！！アンクがいなくなっちゃった！！」

アンクル「呼んだ？」 右腕が元に戻っている

比奈「しちゃんと呼んでない！！てかアンク返して！！」 アンクルの右腕を掴んで引き抜こうとする

アンクル「ちょっと止めて！！やーめーてー！！」 抗う
スポン！！

比奈「抜けた！！……って、コレ玩具じゃん！！」 ぬか喜び

公磨「あの、一体何があったんですか？」

信吾「ああつ、実はな……アンクが出て行ったみたいなんだよ」
今までアンクが使っていた体

海東「右腕お化け君が？一体何が……？」

ルミア「そう言えば、本編で右腕アンクがアンクルに……」

海東「ルミアさん！はあはあ！！」 興奮する

『SEEL BURST』

ルミア「失せる！！」 生身セルバースト

海東「ギヤアアアアアアアアアアアアアアアア！！」

ハカセ「とりあえず、みんなで探そうよ！！」

鎧「……ってあれ？マーベラスさんと映司さんは？」

ハカセ「それが……」

バスコ「爆破つ！！」

ドカーン！！

マーベラス「イヤアアアアアアアアアアア！バスコオオオオオオ！！お前わざとだろおお！！」

バスコ「心外だなあマベちゃん、言うておくけど実際にマベちゃんの票は4票中たったの1票しか無かったんだよ？俺は良心に従ったまでだ」

マーベラス「ふざけるなああああああ！！てめえに良心なんて言葉、一切合わねえよ！！」

バスコ「言い訳は聞かないよ？さて、罰ゲーム執行だよ 24時間徹底的にお宝に浸るからね」 マーベラスを連れて行く

「マーベラス、やっ、やめろおおおおお！」 抗う

映司「ごめんマーベラス君。その消えそうな光、救えそうにない」
 景品のパンツに浸る^{あした}

マーベラス「やめろおおおおお！！Yaaaaaa」

AAAAAEEEEEEEEEEEEUUUUUUUUUU
OOOOOOOOOO!!」 叫ぶ

バスコ『まだまだ行くぜ』 マーベラスおたからの尻を触りまくる

マーベラス『イヤアアアアアアアアアアアアアアア! ウソダドン
ドコドン!』 泣き叫ぶ

バスコ『お宝、ゲットだぜ』 某永遠の10歳の名セリフを言い
ながら触りまくる

マーベラス『イヤアアアアアアアアアアアア!』

く24時間後く

バスコ『ふうく、型取れば良かったな』 上機嫌

マーベラス『……』 ボロボロ

ジョー『……マーベラス、強く生きるんだ』 慰める

マーベラス『お宝……、もう嫌……』 泣き出す

ハカセ『……て感じ。映司は先に搜索しているみたいだからほうつ
ておいて、マーベラスにとってはダメージ大きかったみたいでさ。
他の3人の内2人は全力で看病、1人は……』

鎧『大体分かりましたドンさん、言わなくて大丈夫ですはい』

海東「じゃあ右腕お化け君搜索をゲストにも手伝って貰おう」　力
ード１枚、ディエンドライバーに挿入する

【SYOSETU RIDE TURUGI】

ツルギ「俺はゲストにおいても頂点に立つ男になってやるよ」

ハカセ「サソリ!？」

ジヨー「……カニ（ボソリ）」

ルカ「エビ!!」

アイム「我の名は仮面ライダーコア!!」　コアお面を被り

真木「……甲殻類メダルですね？」　キヨちゃんに服を着せる

ツルギ「甲殻類メダル? コレの事か」　黒いコアメダル３枚取り出す

松永「これはこれは、レア物のコアメダルではないか。是非頂こう」

黒メダル３枚貰い、立ち去る

ハカセ「……返せ!!」

フィリップ「今回のゲストは、メイプル畑様の『仮面ライダーディケイド&ダブル&オーズ ポケットモンスター 不思議なダンジョンの世界』の”ツルギ”。君の事……」 ハードボイルダーに乗っていたせいで、途中で帰っていった

比奈「カクカクジカジカ……と言う訳なんです」

ツルギ「アंकという赤い右手UMAを探せば良いんだな。まかせろ、俺は搜索においてm」

信吾「よし、探すか」 無視

ハカセ「ゲストを無視した！！なんてふてぶてしい刑事なんだ!？」

此処から暫く誰の台詞かは分かりませんが、1つだけアंकがいますのでお探し下さい

「アंकー!!」

「何処に居るんだアंकー!!」

「呼んだ？」

「「お前じゃない!!」」

「通りすがりの仮面ライダーだ!!」

「地球を護るは天使の使命!!」

「わからんよ井坂君!!」

「おのれディケイドオ!!」

「いいから探せ!!」

「ラ・メーンは美味しいな」

「メダルだけになってもめげない負けな!!」

「はいはい良かったね兄さん」

「ヒイ!!」

「あらあら、哀しいわね」

「パパ、これあげる!!」

「離すでございますです!!」

「I LOVE ヒバリちゃん!!」

「絶望が貴様のゴールだ」

「申し訳ございません、このような登場で」

「後藤君に良き終わりが訪れるよう……」

「冴子、私達は、何だね？」

「自慢の婿の誕生ですよ、お義父さん」

「その体、是非私に診せてください。ジュルリ！」

「これがふざけてる顔に見えますか？」

「アヘンうおおお、くううれええ……」

```

I i I I I I I I E e Y a A A A A A A S u
UUUUUUUUUUUUUUUUUUUUUUUUUUUUUUUUUUUUUU
r.-!-!
```

「アンク……くだらないな」
「アイス食べてる」

ツルギ「見つけたぞ、アंक。こんな所にいたのか」
アंकを見つけた

王琴「しかし、全くときめかない連中だ」

黄泉の心臓で蘇った模様

ツルギ「……君はあれか、本編で死んだ外道戦士か？」

壬琴「ああ」

ツルギ「……変身、キャストオフ」 サソードゼクター使用

【Henshin】【Cast Off】

【Change Scorpion】

サソードR『よし、ひとまずもう一回逝け!』 いきなり攻撃

アंक「おい!」

壬琴「……その強さ、ときめいたぜ」 黄泉の心臓の影響で無傷

アंक・サソードR「!?!」

公磨「黄泉の心臓凄いな」

雑談011 アンク搜索大作戦（後書き）

後書き劇場

映司「戦争つてさ、絶対無くないよね」

ツルギ「そうだな。戦争がある限り、俺達傭兵も無くない。まあ傭兵だけだな」

映司「ツルギさん、俺達で戦争を無くしよう!!」

ツルギ「ああ!」

バスコ「重い話は置いて……と」

マーベラス「幽霊は幽霊らしく、さっさと成仏しろ!!」

映司「俺に力を!!」

バスコ「【劇場版仮面ライダーOOO WONDERFUL 将軍と21のコアメダル/海賊戦隊ゴーカイジャー THE MOVIE 空飛ぶ幽霊船】は8月6日公開!! 時期的に【ポケモン】とか【ハリポタ】とかやっているけど気にするな!」

ダマラス「宣伝乙」

バスコ「よし、マベちゃんの尻でも触ってこよ」

【スッウツパァ ラジカルツ タイツム】

霧彦「風都を宜しく」 天国から戻ってきた

キヨちゃん「悪霊退散!!」 跳び蹴り

短編002 ホラーテイスト・マーベラス（前書き）

【スッウツパァ ラジカルツ タイツム】

マーベラス「言っておくがタイトル詐欺だ、ホラーよりもギャグに近い」

【レエエエエツッ、ゴオオオオオオ!!】

短編002 ホラーテスト・マーベラス

マーベラス「皆さんこんにちは。2011年度ラジカルタイムのアイドル、キャプテン・マーベラスです。今回お話する話は、俺の身に起こった恐怖体験そのものです。それは……」

そう、この日は何時もと変わらない朝でした。ただ何時もと違うのは、

「なっ、何だこれは!？」

俺が起床した時、俺の仲間は皆倒れていました。俺は思わず、ジョーの体を起しました。

「ジョー!! 一体どうしたんだ!？」

「……マーベラス」

「!？」

ジョーはそう言つといきなり

俺の尻を触ってきました。俺は突然の出来事に、悲鳴を上げられませんでした。そしてジョーの体を突き離したのです。

「ジョー、ジョー！！いきなり何をしやがる！？」

「マーベラス、お前の尻を触ってみたい！！」

そついうジョーの目には、二度と顔すら会わせたくない変態ゴミ虫野郎、バスコ・タ・ジョロキアの（ム力つくほどにやけた）顔が！！（勿論両目だからバスコの顔は2つ）

すると、ルカ・ハカセ・アイム・鎧が起き上がりました。何という事でしょう、奴等の目もバスコの顔に！！流石に怖いです……

「マーベラスウ、ちょっと位良いでしょう？」

「ちょっとだけ測定させてよマーベラス……」

「フフフフフフフ、マーベラスさん……」

「そんな美尻、今までの戦隊にありませんよ」

「なっ、何だよ！？来るな、気色悪いぞおい！！」

「マーベラス君」

「ヒッ！？」

突然背後から声と尻に違和感を感じたので振り返ると、ガ ス星
で出会ってからの付き合いであるパンツに異常な執着心のある男、
火野映司がいました。奴の目は奴の体内にある紫メダルが覚醒した
時と同じ紫色、そして奴の右手（しかもギル覚醒時）は俺の尻にあ
ったのです。

「マーベラス君知っている？みんなそれぞれ宝がある事。そして君
以外、その宝は共通しているんだよ。それはね、おたからマーベラス君の尻
なんだよ？」

そう言った際奴は瞬きをし、目を開いた時は既にバスコの顔でした。
俺はすぐさま奴から離れました。

「「「「「さあ、祭りの時間だ！！」「」「」「」

「わっ、わあああああああああああ！！」

俺は悲鳴を上げ、バスコの顔をした目の仲間から逃げ始めました。

ひとまずガレオンから下船、俺は街中に降り立ったのです。早くその場から逃げなければセクハラの道に足を踏み入れてしまった仲間にケツを触られてしまう、そう思って逃げ始めたのですが……

「あつ、マ^{おたから}ーベラスの尻だ!!」

「ホントだ、マ^{おたから}ーベラスの尻だ!!」

「手に入れるチャンス!!」

周りの地球人共も俺のケツ目掛けて追いかけてきたのです。無論、地球人共の目は皆バスコでした。俺は近くの10階建てビルに逃げ込み、5階にあった”5103号室”とあった部屋に助けを求めるように入りました。そしたら……

「ふっふっふっふっ!……中々疲れる体操ね」

「よいよいよい!!」

「YAMERO!YAMERO!YAMEROOOOOOOO
OOOOO!!」

「……オッ、オノレ伊達明アアアアアアアアアア
A A A A A A A A A A A A A A A A!!」

「…………ハハハハハハハハ…………ハア」

某喋るミニチュアシユナウダーと子供2人がメインキャラのドラマで、その子供がそのドラマの主題歌として歌っているあの歌のダンスを、シユラウドのババアとみんなの伊達さん（キヨちゃんの足を釣竿にくくりつけて宙吊りにし、ディ・ラガンヘッドの口の中に出し入れしている）と絶叫するマツキーとキヨちゃんがいたのです。何でだろう、急に溜め息が出た。そして別な意味で鳥肌が立ち、部屋から出ました

仕方なく別な部屋を探し、見つけたのは”753号室”でした。俺は恐る恐る扉を開けて部屋に入りました。そしたら……

「ニゴリーエースハオデノモノダア！！」

「オンドウルルラギツタンデイスカー！！」
バキッ！！

「ザヨゴー！！」

天狗お面を被り禪一丁の橘朔也が、後輩の剣崎一真に飛びかかったら一真に背負い投げをされ、そしたら床を突き破って下の階に落ちていきました。断末魔を上げながら……

「ナズエミテルンデイス！？」

「…………ハア」

一真は俺の方に顔を向け、ムツコロフェイスをしながら名台詞を叫びました。またしても俺は溜め息を吐き、部屋を出ました

その隣に”193号室”があつたので、その部屋に入ってみました。そしたら……

「オoooooooooooo」

「公磨!?!」

「オoooooooooooo」

「コウタ!?!」

「オoooooooooooo」

「ユート!?!」

「オoooooooooooo」

「お兄ちゃん!?!」

真朱・アリサ・エミリア・ルミアの4人が作ったポイズン料理の被害に合い、即座にリバーズしている余賀公磨・藤木コウタ・ユート・イーサンの姿がありました。これには鳥肌が尋常じゃない程立ち、即座に出て隣の”TORO号室”に逃げ込んだのです

部屋にはゴスロリ姿の少女が、天井からぶら下がる白い紐を持っていた。何か嫌な予感……

「食べる？」

「……ギャアアアアアアアアアアアアアアアアア！」

……予感的中しました。紐を引っ張ると天井の扉が開きそこから大量の黒い何かが！！よくわからなかったけど、とにかく黒い何かが大量に降ってきたのです！！更に！！

「バアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアア！」

「ギャアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアア！」

黒い何かで埋め尽くされた地面から、黒い何かが大量に付着しているミイラ男が2体も起き上がったのです！！俺は恐怖のあまり逃げ出しました！！

「美味しいのに、蝗の佃煮……」

「この後、蝗イナゴの佃煮は全部スタッフが美味しく頂きました」

「何言ってるんですか刃野さん？」

「……」

「……」

「……」

俺が思わず入った部屋では、ロボットダンスをしている人体模型（理科室にあるようなリアルなアレ）が2体いました。人体模型はダンスの最中に俺の方に顔を向け……

「F A C K Y O U ! !」

「ええええええええええ！？」

「俺を罵倒するな！！」

「ええええええええええ！？」

そう罵声を浴びせてきたのです

もう何が何だか分からなくなつたその時

「お宝ーっ！！」

「うおっ！？……そう言えば逃げている最中だった！！」

本来の目的を思い出したのです。俺はかくまってもらう為に逃げ込んだのに、どの部屋もかくまってもらえなさそうという状況……。もう嫌なのでビルの屋上へと向かったのです。しかしそれが、大きな間違いでした……。行き止まりになっていました

「マーベラス君、とうとう追い詰めたよ？」

「なっ、何で俺のケツを付け狙う！？お前ら全員バスコにでもなったか！？」

「それはね、マーベラス君のお尻が素晴らしい！！からなんだよ」

【タカ！！トラ！！バッター！！】

【タットツバ タトバ タットツバ】

バスコの顔をした両目の映司が〇〇〇に変身。ただ……

その〇〇〇は、タトバに変身したら本来〇〇〇の頭になる筈のタカヘッドではなく、バスコの顔そのものになっていたのです。あまり

にもシユールすぎて……

「……キモツ、フォーゼの方がまだマシだな。いや、別にフォーゼダサくないしな。どうせ”仮面ライダーは動けば格好いい”というジンクスが……って、そんな事どうでもいいか!!」

思わずそう口走ってしまいました。そんな事している内に、俺を囲うように（バスコの顔をした両目の）地球人共・仲間が現れました。前後左右見回しても俺のケツを狙う野次馬共、更にモバイレーツを忘れてしまつて変身出来ない状況。まさに八方塞がり、逃げ場は一切ありません

「来るなら来い!! 全てを破壊し合つ!!」

俺は破壊者の台詞を叫び、襲いかかってくる野次馬共と戦いました

……

次に目が覚めたのは、ゴークイガレオン内の俺の部屋でした。どうやら今までの事は全て夢、そう思った俺は安心して部屋を出て行くことができましたが、突然ケツから嫌な感触がしました。背後に顔を向けると……

「やあ愛しのマベちゃん、会いに来たよ」

「……いやあああああああああああああ！！」

完！！

因みにイナゴ部屋から逃げ出した際に

「おや宇宙海賊君、失礼しますよ」

加頭順がある部屋から出てきたので、俺は奴が出てきた部屋を覗いていました。そこには……

「

」

「……何があったあああああああああ！？」

一体何があつたのか、何故かのっぺらぼつになっている園咲霧彦と
井坂真紅郎が居ました

短編002 ホラーテイスト・マーベラス（後書き）

後書き劇場

映司「そついや、俺って何なの？」

マーベラス「お前はラジカルタイム初代メインパーソナリティだな」

映司「……二代目はマーベラス君だねきつと」

マーベラス「そして三代目メインパーソナリティは、お前の後輩だ」

映司「……あゝ」

弦太郎『トモダチパワーで宇宙キターッ!!』

賢吾『ハッキリ言ってウザイよ弦太郎君……』 ドス黒オーラ放出

映司「アイツ、トモダチトモダチ五月蠅くて、”今度の学校では生徒全員とトモダチになる!!”とか言っていましたね……」

マーベラス「2011年は任せろ!」

映司「2012年は？」

マーベラス「次の戦隊だなきつと」

公曆「……是非俺もメンバーソナリティに」

ブラジラ（の生霊、というか迷える魂）『大丈夫だよ余賀君。君は私に買ったんだ、もっと自分に自信を持ちなさい』

公曆「ブラジラ先生……！！」

ダマラス『中の人ネタ乙』

【スツウツパァ ラジカルツ タイツム】

雑談012 チェンジ・ザ・ヒーロー!?(前書き)

【3・2・1】

【レエエエエツ、ゴオオオオオ!?!】

雑談012 チェンジ・ザ・ヒーロー!?

暫くネタバレが続きます

シャウト「いやあ、凄かったな最終回の〇〇〇」

公曆「まさかあんな事になるとは、思ってもいなかったですよ!」

ワイナル「後藤ちゃんが最後の最後で活躍したからねえ……、落ちてくる映司を受け止める際に知世子さんが来たのは意外だったけど。で、アレは何なの!?!」

シャウト・公曆「あ……」

ルカ「私達の勝ちね!」

裏アイム「うふふふふ。許して欲しければ、跪いて靴の汚れを舐めて綺麗にしないさ……」

ハカセ「ルカあ……」 縛られている

鎧「参りましたあ……」 縛られている

シャウト「最終回の討論したんだが、結果がルカとアィムを足した感じだったからなあ……」

ワイナール『それでも”最終回は劇場で”をやらなかった事から、〇〇〇はマシな方だよ……』

士「ゲツフォア!!」吐血ダメージ

公曆「その”最終回は劇場で”をやった人が(吐血するほど)ダメージ受けましたよ皆さん!？」

【ROCKET】【ロケットON】

賢吾「部室の床を汚すな、このもやし野郎」士にロケットモジュール制裁

士「ザヨコー!!」

シャウト「生身でモジュール装備だと!？」

ユウキ「止めて部室が血に染まる!!」

今回からロケ地を天の川学園高校 仮面ライダー部の部室に変更
因みにこう見えて賢吾は病弱です。原作では勿論生身でモジュールなんか装備出来ません。例え弦太郎だって無理です!!

漸く本題へ

映司(？)「僕のメダル、返してもらっよう兄さん？」　ウヴァに殺虫剤発射

ウヴァ「　虫の息

メズール「ウヴァアアアアアアアアアアアア！！」

カザリ(？)「ちょっ、俺の体で変な事しないでよ！！」　映司を止める

映司(？)「邪魔しないでよオース。ウヴァ兄さん1人だけ最終回に出れて……、最初に死んだ僕は一体なんなんだよ……」　半ベソ

カザリ(？)「まあ、お前本編で一番欲深くて狡賢かったからなあ……。見た目に反して嫌いな奴とかいただろうし……、寧ろ作者が何故かウヴァにハマって行くという謎の現象が起きたしなあ……」
慰める

映司(？)「最近出番無かったし、なんか自分が失われそうで怖い……」　落ち込む

カザリ(？)「と、とにかく落ち着こうか……」　慰め中

暁(？)「無い、無い、ある……いやあ気色悪い！！」　自分の体を触り

マツリ(？)「ある、ちょっとだけだけどある……、無い……ええ

え!?! 同じく

暁(?)「ちょっと、ちょっとだけって何よちょっとだけって!?!」

マツリ(?)「すつ、すみませんマツリ先輩!?!」

ヒュウガ(?)「ヒュウガ兄さん!?!」

リョウマ(?)「リョウマって、俺がくる!?!」

ヒュウガ(?)「って俺がいる!?!」

克己(?)「克己ちゃんになっちゃった!?!でも嫌いじゃないわ!?!」
腰を回しながら

京水(?)「止めてくれ京水!?!お前の馬鹿な動きを俺にやらせるな!?!」

マリア「克己iiiiiiiiiiiiiiiiiiii!?!」
克己が死んだ時以上に悲しむ

3人官女(レイカ・ニーナ・ソフィア)「「「克己iiiiiiiiiiiiiiiiiiii!?!」」」

ナギサ「……ワイナール、何が起きている？無性に斬りたくなってきた……」 スティールハーツを取り出し

ワイナール「ちょ、落ち着こうかナギサちゃん!!」 ナギサを止める

公磨「一体何があつたんですか!？」

ダマラス「すみません皆さん、ウチの行動隊長がご迷惑を……」

ワイナール「ダマラスさん……一体何があつたんですか？」

ダマラス「ウチの行動隊長に、レガエルという”2つの生命体の魂を入れ替える”能力を持つ奴がいて、殿下はソイツに”世界各国の首脳とスゴミンの魂を入れ替えて無条件降伏する”という計画を企てていたんですが、そのレガエルが勝手な事をして……」

鷹介「で、俺達ハリケンジャーが探している途中なんだよ」

七海「で、見つかったわよ」

吼太「こっから数キロ先の”天の川学園高校”で……」

公磨・ワイナール「……まさか!？」

吼太「そう……」

天の川学園高校 校庭

【DRILL】【ドリルON】

アイム(?)「……何他人の魂ひとと俺の魂を入れ替えるんだこの宇宙人が」 ドリルモジュールを生身で使いこなす姫(?)

賢吾(?)「どうなるか分かっているのですか!？」 0距離でゴ
ーカイガン発砲する、こう見えて病弱な高校生(?)

レガエル『申し訳ございませええええええええええん!~!』

公磨・ワイナール「『やつぱり……!』」

ダマラス『申し訳ありません御2方、御詫びにやつちゃって下さい』

レガエル『ダマラス様ああああああああ!~?』

アイム(?)「どけ宇宙人、俺が決める」

【ROCKET】【ロケットON】

【……………】 ネタバレ防止で伏せましたが、早い話
ライダーキックの音声です

アイム(?)「正式名称分かんないから!ライダーアアアアアア、
キイイイイイイイイイック!~!」 フォーゼのライダーキック
やった

レガエル『ギヤアアアアアアアアアア!~!』

アイム「賢吾さんの暴れっぷり、素晴らしかったですよ」

賢吾「貴方の暴れっぷりだって……そうだ、俺達組みましようよ。
”鉄拳制裁組”って」

アイム「まあ、素晴らしいですね。是非とも御願います」

賢吾「此方こそ」

ワイナル「……厄介な奴が増えましたね」

ダマラス「彼等は眠れる獅子です、そうっとしておきましょう……」

ゴークイガレオン

弦太郎「ようゴークイジャー!!」

マーベラス「誰だてめえ？」

弦太郎「俺は全ての仮面ライダーと今度転校する天の川学園高校の生徒全員とダチになる男、如月弦太郎だ！」

マーベラス「あっそう」

弦太郎「火野先輩がお世話になったからな、次回からは俺が火野先輩に替わってパーソナリティを勤めることになったんだ。1つ宜しく」拳を突き出す

マーベラス「（よし、これでとばっちりから逃れられる）……ああ」
自分の拳と弦太郎の拳と合わせる

弦太郎「よっしゃあ！！トモダチパワーで宇宙キターッ！！」

エルダー『次回からのスーパーラジカルタイムは、火野映司に替わって如月弦太郎が司会を務めるぜ！！』フォーゼのナレーションです

ヤンガー『立派になったな、弟よ……』

シャウト（？）「マベちゃんの尻を触りに行く」

バスコ（？）「ヤメロオオオオオオオオオオオオオオオオこの変態野郎
おおおおおおおおおおお！！」

ヤンガー『彼等の運命やいかに！？次回に続く！？』

雑談012 チェンジ・ザ・ヒーロー!? (後書き)

報告

作者「今回から”仮面ライダーフォーゼ”に合わせ、前書きと後書きの【スッウツペア ラジカルツ タイツム】の部分を、フォーゼ風に変えるのでご理解下さい。でも、だからと言ってまたリメイク新作はしないのでご安心下さい。それでは、また次回」

【ラジカルスイッチ、ON!】

雑談013 制裁組結成!! (前書き)

【3・2・1】

【レエエエエツッ、ゴオオオオオ!!】

雑談013 制裁組結成!!

賢吾『宇宙の力で裁きを下す! ストロング・スチューデント! 歌星賢吾!!!』

アイム『全ては私の言いなりに! ドメスティック・プリンセス! アイム・ド・ファミーユ!!!』

ブレンダン『我が刃の錆となれ! ジーニアス・ファントム! ブレندان・バーデル!!!』

メズール(人間態)『800年の大海原よ今此処に! バイオレンス・ファザー! メズール人間態!!!』

ナギサ『蒼き剣よ、悪しき血を啜れ! ソウルイーター・ブレイド! ナギサ!!!』

お市『……根の国からの来訪者! テラー・レディー! お市……!!!』
追加戦士、所謂6人目

賢吾『報われぬ屑に天罰を下す!! 我ら!』

制裁組『スーパー制裁組!!!』 背後チユドーン

武田『君のレンジャーのステータスだ!!』

・タイリヨク 6000

・コウゲキ 30000

・ヒツサツ 10000

おぞましい程のパワーを秘めているぞ!!」

ブラジラ『ヒイイ……』 対戦相手?、戦意喪失している

Dゴセイナイト『こつ、降参します!!降参させて下さい!!』

対戦相手?、白旗振っている

外道シンケンレッド『……』 対戦相手?、泡吹いて気絶している。
しかも失禁

真木グリード『……完成してしまう。私の終末が……』 対戦相手
?、大の字に寝転がる

三國『……すまない余賀君、君とのデイルは出来そうにない』
対戦相手?、カード捨てて両手を上げた

ダークファルスD『グオオオ……』 対戦相手?、とにかく土下座

エミリア『……あんたら、それで十分戦えるでしょ?何で人間2人
と宇宙人2人、グリード1体ともののけ1人に恐れなすのよ?』

賢吾『降参?……誰が許すもんかあ!?!』チェーンソースイッチ使用
【CHAIN-SAW】【チェーンソーON】

ユウキ『やめてえ!!チェーンソーはやめて!!下手したら苦情来
るからあ!!!』

賢吾『成敗!!』 チェーンソーモジュールによる回し蹴り

外道シンケンレッド『げどうたいさんっ!?!』 一撃必殺らしく、

HP切れ

弦太郎「俺のダチ、強いだろ!？」

マーベラス「強い以前に怖いわ」

”仮面ライダー部の部室”（多分ラビットハッチだろうが現状ではコレで）

マーベラス「……アイムがいるのは分かる。が、他の4人はどういう経緯で入ったんだ!？」

ブレンダン「……タツミのバカが仕事しないせいで、全部の仕事任されて毎日毎日イライラしたから」

メズール（人間態）「メダル破壊されて消えて、もう失う物なんか無いから制裁組に入ろうと思って」

ナギサ「剣の修行と強い者探し。後は悪の輩を成敗するためでもあるな」

お市「……どうでも良いじゃない、そんな事。強いて言うなら、み

んなの新しいお友達も面白い位に出来るから」
魔の手を指す
みんなのお友達

マーベラス「……まともな奴がないのは分かった、制裁組は」

シャウト（？）「フライング・ケツタッチ」！」「マーベラスの尻に飛び込むようにスライディング

マーベラス「レッド・オーバー・キル」！」「シャウト（？）を掴んでそのまま背負い投げ

シャウト（？）「ザヨゴーツー！」

【DRILL】【ドリルON】

賢吾「歌星流・ドリル折檻」！」「シャウト（？）の真上にジャンプしてドリルモジュール装備

シャウト（？）『アーツー！』

バスコ（？）「あんの変態野郎おおおおお！」「全力疾走

ユウキ「宇宙海賊さん!!宇宙ってどんな感じなんですか!？」

ジョー「(ウザい……)」

ルカ「(うっとおしい……)」

ハカセ「(2人共早く帰ってきて……)」

鎧「(さっきから体中が痛い……)」 何が起きているのか知らない

凱^{がい}『おらっ、おらっ、おらっ!!』 鎧を殴っているが、霊体のせいで気づかれてない

壬琴『ナニシテルンディスカガイセンパイ?』

凱『話しかけるな、俺は納豆と男が大嫌いなんだ!』 壬琴を無視してる

弦太郎「でもさ、俺のダチはこんなに強いのに戦いがないんだよな」

賢吾「病弱だからですが何か？」

病弱です

アイム「自慢では無いんですが、ある星の姫なので……」
ミーユ星のお姫様でし

ブレンダン「下手したら停学喰らいかねないからなあ……」
サイトの小説では生徒会副会長

メズール（人間態）「息子2人に手を焼かしているから忙しいの」
父親設定

ナギサ「ワイナールが煩くてな……」

お市「どうでも良いじゃない、そんな事……」

マーベラス「……フリーダムすぎるだろ？」

弦太郎「でもな……」

回想

パワーダイザー（賢吾）『こんの宇宙人があー！』
ロボットに乗
ってフルボッコ

キアイドロー『ちよっ、待つて』
やられるがまま

パワーダイザー『学校壊すんじゃないよ宇宙人の分際でよー！』
スーパーフルボッコタイム

キアイドロー『もうどうにも出来ない

マーベラス「……怖っ！」　メンチカツサンドもぐもぐ

弦太郎「でも美味しいんだよな、ダチの得意料理らしい野菜たっぷりメンチカツのサンドイッチ」　メンチカツサンドもぐもぐ

賢吾「食わせてやったんだから文句言うなよ」　メンチカツ揚げて
いる

アイム「賢吾さん素敵です」　メンチカツをパンで挟んでいる

セイギ（ファンタ）「……」　覗いている

お市「???」

賢吾のメンチカツが得意料理は本作オリジナルです

雑談013 制裁組結成！！（後書き）

後書き劇場

セイギ（ファンタ）「僕も制裁組に入りたいなあ……」

マーベラス「おまつ、草食男子が肉食男子になるなんて自殺行為だろ！？」

賢吾「許可する」

セイギ（ファンタ）「ヤッター！」

マーベラス「おい！！」

賢吾「男2人しかいないんだ、バランスがワルズ・ギル（悪すぎる）だろ？」

バスコ「マベちゃんの尻触るのに適切な場所ってあるのお姉さん？」

友子「マーベラスさんは背後45°に隙があるので、此処から45°。以内のベストポジションなら走っても触れます。更に……」

ダマラス「なに変態同盟組んでんだ？」

【ラジカルスイッチ、ON！】

変身講座001 フォーゼ、キターッ!! (前書き)

【3・2・1】

【レエエエエッ、ゴオオオオ!!】

変身講座001 フォーゼ、キターツ!!

士「如月弦太郎」

弦太郎「えつと確か……、仮面ライダーディケイドの……門^{もやし}矢士先輩ですよね？」

【FINAL ATTACK RIDE DE-DE-DE DECADE】

ディケイド激情態『セイヤアアアアアアアア!!』 デイメン
シヨンキツク

弦太郎「ろけつとおおおおおおおお!!」 爆発、力
ードになった

ディケイド激情態『あつ、やりすぎた』 フォーゼのカードを拾い
上げ

【ロケットON】 【ドリロン】
【LIMIT BREAK】

賢吾「何主役をムッコロしてんだこのもやし野郎」 ロケットドリ
ルキツク発動

ディケイド激情態『うつそだあああああ!!』 爆発、力
ードになった

ユウキ「弦ちやああああああああん!!まだ、まだ
友達10万人も出来てないのにiiiiiiiiiiiiiiiiiiii
!!」 フォーゼのカードを持って嘆く

JK「ちよつと何そのカード！？マジウケるんだけど！！」 大爆笑

ユウキ「」JAXAウルトラダイビングボンバー」！！」 ただの
飛び蹴り

JK「」チャラ男ガード」！！」 ただの机でガード

友子「凄い興味深いわ、この何だか分からないカード……ふふふつ」
ディケイド激情態とフォーゼのカードを拾い、iPadで検索

美羽「……帰って良いのかしら？埃が酷いほど立っているし」

隼「仕方ない、これも美羽の為だ……」アメフトタックル」！！」
ただのタックル

JK「らんちゃーっ！！」 本家

ユウキ「どりるっ！！」 （一応）巻き添え

友子「れーだーっ！！」 （本当に）巻き添え

隼「しまった、レディーも巻き添えを喰らわせるなんて……」

賢吾「女に手を出すなゴリマッチョに満たない細マッチョ野郎」
相手が一般人なので、流石に自重して生身でキック（但し頭に）

隼「まじっくはんどっ！！」 吹き飛ば

美羽「かめらっ！！」 ただ驚いただけ

フィリップ「……フォーゼの全てを閲覧し終えた。試しに余賀公磨、君が変身してみてくれ。ドライバーは歌星賢吾から借りてきたから、翔太郎に任せて」

翔太郎「　ドリル痕あり

公磨「（やられたんだな……）でも俺、変身なんてした事が無いんですけど……」　ドライバーを取り付けながら話す

ブラジラ『大丈夫だよ余賀君。勇気を出して一歩前進するんだ』
励ます

公磨「ブラジラ先生……分かりました！！俺、絶対フォーゼになります！！」

フィリップ「では変身の手順を確認しよう

？アストロスイッチを決められたスロットに4つ差し込み、腰にドライバーを取り付ける

決められたスロットとは、右から　・x・　の事を指す。今回使うアストロスイッチは、フォーゼの代名詞とも言えるロケット（　）・ランチャー（x）・ドリル（　）・レーダー（　）の4つだ」

公磨「……もうドライバー取り付けただけ、逆でも大丈夫かな？」

【ROCKET】【LAUNCHER】【DRILL】【RADE
R】

フィリップ「

？4つのアストロスイッチを差し込んだら、スロットの先端にある

赤いスイッチをONにする

スロットにアストロスイッチが無い場合、赤いスイッチをONしても反応はしないから注意だね」

公曆「……ONしました」

【3・2・1】

フィリップ「

？変身ポーズをしながら「変身！！」と叫び、右手で右側にあるレバーを押し、左腕を元に戻して右腕を高らかに挙げる

変身ポーズは、例えるなら仮面ライダーナイトのポーズを、左右対称にしたポーズだね。左腕を右側に持っていて30°位に曲げ、右腕はレバーを押し為後ろに下げている

更に右腕を挙げる所では、ギンガマンやマジレンジャーを連想できるね」

公曆「へっ、変身！！……そしてレバーを押して右腕を挙げる！！」
変身した

フォーゼ・Bステイツ^{ベース}（公曆）『宇宙キターツ！！』

ブラジラ『やったな余賀君！！先生嬉しいよ！！』

フォーゼ・Bステイツ（公曆）『やりましたブラジラ先生！！』

フィリップ「次はモジュールチェンジだ。といっても、スイッチをONするだけだから簡単だね。因みに

・ロケット 丸い部分を押し込む

・ランチャー レバーを前に倒す

・ドリル つまみを右方向に60°回す

・リーダー ホイル部分を前方向に180°回す
OFFをするにはこれらの逆をすればいい。あと

フォーゼ・Bステイツ（公曆）『ええつと……』

【ロケットON】 【ランチャーON】 【ドリルON】
レダON】

フィリップ「……ドリルは空中で発動した方が良いと言おうとしたのに……」

フォーゼ・Bステイツ（公曆）『あつ、歩けなアダツ!!』 転けた

ブラジラ『余賀君!?!』

フィリップ「……最後にリミットブレークとスイッチ入れ替えについて話すけど……」

・何れかのアストロスイッチがONになっている状態でレバーを押す

・対象のアストロスイッチがOFFになっている状態で赤いスイッチをONしたままスイッチを抜き取り、スロットに対応したアストロスイッチを差し込む

因みに5〜9だと

5 マジックハンド（右腕・）

6 カメラ（左腕・）

7 パラシュート（左腕・）

8 チェーンソー（右脚・x）

9 （未確認だけど）ホッピング（左脚・）

言い忘れたけど

右腕

右脚 ×

左脚

左腕

だからね」

フォーゼ・Bステイツ（公曆）『そう言えばアストロスイツチって、
仮面ライダーが今年で40周年だから40個あるって聞いたんです
が……』

フィリップ「流石B社（仮面ライダーの玩具を扱う会社）だ、金狙
いな事に間違いは無い……」 背後から禍々しいエーラ

ブラジラ・フォーゼ『怖っ！！』

みんなもフォーゼドライバーを買って変身してみよう！！

変身講座001 フォーゼ、キターツ!!（後書き）

後書き劇場

賢吾「ドライバー返せよ？」 圧力かけ

フォーゼ・Bステイツ（公曆）『わっ、分かりました……』 変身解除

賢吾「……ドライバーを手にしたって、俺はフォーゼには変身出来ない……。何でこんな体に生まれたんだ!？」 落ち込む

公曆「げっ、元気出せよ……」 自分が大学2年だという事を思い出した

アイルム「賢吾さん、私は賢吾さんがフォーゼに変身出来なくても信じていますから、元気出して下さい」

賢吾「アイルムさん……」

【ZEKROM】

翔太郎『リア充爆発しろオオオオオオオオオオ!!』 ゼクロムになった

【RESHIRAM】

フィリップ『落ちて着け翔太郎オオオオオオオオ!!』 レシラムになった

【ラジカルスイッチ、ON!】

雑談014 - 1 アストロ アイム様!! (前書き)

【3・2・1】

【レエエエエツッ、ゴオオオオオ!!】

雑談014-1 アストロ アイム様！！

”仮面ライダー部の部室”ことラビットハッチ

因みに重力コントロールはOFF状態になってますよ

マーベラス「はあ、あゝあ……」 （重力で浮いたまま）溜め息を吐く

弦太朗「どうしたんだマーベラス？溜め息吐いて……って、マズっ
（宇宙用の）飲み物飲み

マーベラス「あつ、本当にマズっ」 つられて飲み

ユウキ「弦ちゃんゴメンね、此処には宇宙食しかないのよ。それで……マーベラスさん、宇宙の旅ってどんな感じだったんですか！？」 メモ帳取り出し

マーベラス「ああ、俺はまだヒヨツ子だった頃だな。キアイドーにコテンパンにされてイライラしていた頃、アカレッドと会ってな。奴とバスコと共に”赤き海賊団”を組んでだな……って、そんな事じゃねえ

いやっさ、花嫁ファンダホー事件（言い換えればゴークイ29話の、アイムコスプレ回。ファンダホーは29話の怪人声優繋がり）以来、アイムがやけに落ち込んでな……」

弦太朗「アイムさん繋がりなら、賢吾だつてよ……」

マーベラス・弦太朗「「はあ……」」 共に（宙に浮きながら）溜め息を吐く

因みに今回、賢吾は病院に行っているので全然出てきません

ゴーカイガレオン

鎧「……」 背中にゴーカイスピア（アンカーモード）が刺さって死にかけ

アイム「恥ずかしいです、もう生きていけません……」 赤面してソファーに倒れ込んでる

セイギ（ファンタ）「……アイムさん、どうかされました？」 マジックハンドスイッチをいじりながら

ハカセ「あつ、セイギ君。君は”花嫁ファンダホー事件”を知ってる？」

セイギ（ファンタ）「ああ、確かワルズ・ギルが地球風邪のウィルス、”ワルズ・ギル風邪”（仮称）にかかって（サイボーグの）バリゾーグさん以外の全員が感染し、”女性の幸せエナジー（特に幸せの絶頂期がベスト）”を注射すれば1発で治るらしく、”1年前のファンダホー”ことダイヤールにエナジー集めをさせた結果、アイムさんがコスプレして困惑させたっていう……」

ハカセ「そうなんだ。そしたら鎧、ちゃっかりセルラーで写真撮っていて……。てか、ゴーカイセルラーってカメラついてたんだ」

ゴーカイセルラーは3人のレジェンドが頑張って作った代物。なのでハカセや友子ですら解析不可

友子「私に、解析出来ないプログラムが、あつたなんて……orz」

落ち込み中

バスコ「元氣出しなよ友子ちゃん」　ゴークイレッド（のソフビ）
の尻部分を触り

セイギ（ファンタ）「……でも、少しばかり見たかったかも（心：
そして是非エリカにもやらせてあげたい）」

恭介「そんな君達に、時間旅行をさせてあげよう！！ガイドはタイ
ムレンジャー元タイムレッドの、浅見竜也君だ！！」

竜也^{たつや}「陣内先輩、何でタイムレンジャーなんですか？デンライナー
にでも頼めば……」

恭介「私が生理的に無理なのだ！！」

竜也「その事件から大した時間経ってないのに、エネルギーの無駄
ですよ……まあいいや、付いて来てくれ」

タイムマシン

セイギ（ファンタ）「タイムマシン！？」

竜也「時間保護局から借りた奴だから丁寧に扱ってね。まあ、俺が
操縦するからいいけど」

弦太郎「俺にも乗らせてくれ！！」　タイムマシンに乗り込む

竜也「人数制限5人までだけど面倒くさいから3人のままでGO！」
タイムマシン起動、時を越える

【ROCKET】

アイム（ノーマルステイツ）「御機嫌よう庶民の皆さん」 笑顔
で鞭使用

アメフト部の1人「ゴボゴボゴボ……」 首を鞭で縛られ、泡吹い
てる

隼「何あの人！？笑顔なのに黒くてメツチャ怖い！！」

アイム（ノーマルステイツ）「あらすみません、ファミュー星では
こうやって挨拶をするので……」 ピンクなのに黒い

隼「ファミュー星って何！？どっちにしても怖い！！」

アイム「うふふ……」

ルカ「やめたげてよお！！」

セイギ（ファンタ）「……何時ものアイムさんだ」

弦太郎「怖い、怖すぎるぜ……」

竜也「……次行こうか」 タイムマシン起動

【LANCHER】

ゴーカイピンク「派手に参ります！！」 （0距離で）ゴーカイガ
ン発砲

スゴーミン『スゴーツ!？ちよつ、まつ……』　ゴーカイピンクに顔を掴まれる

ゴーカイピンク『うふふ……、素敵な悲鳴をあげなさい……』　スゴーミンの顔を掴んでる手に力を入れる

スゴーミン『ギャツ、ギャアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアア!』　悶える、しかも失禁

行動隊長『お前!!それでもチビツ子のヒーローか!?!』

ゴーカイピンク『……さあ?』　手が真つ赤に

ゴーカイシルバー『アイムさんどうしたんですかその手!?!』

ゴーカイピンク『ああ、これはキムチを作ってたんです』

ピンク以外『……嘘だっ!!』『……』

セイギ(ファンタ)『……あの替え歌ですね分かりました』

【DRILL】

アイム(女子高生ステイツ)『おはようございま〜す!!』　自転車で登校

弦太郎(この時間の)『ブッフーツ!!』　鼻血

隼「オブエーッ!!」 鼻血

JK「アンドレーッ!!」 鼻血

千明（高校生当時の）「マリモーッ!!」 鼻血

真田「ハレンチブフッ!!」 鼻血

大杉「オボボボボボボボボ……」 大量出血

美羽「ヤバイ、あのトラッシュム力つく……」 アイムに嫉妬

アイム（女子高生ステイツ）「おはようございます、庶民の皆さん」

男子生徒全員『 ライフは0

竜也『 鼻血

弦太郎『あの時のアイムさんは可愛かったよなあ』

【RADAR】

伊達（OOO）「新しいナースはまだか？」

アイム（ナースステイツ）「お待たせしました」 デッカい注射を所持し

伊達（OOO）「ドッキンコオオオオオオオオオ!!」 惚れた

井坂「ふん！人間の女など興味なんかない！私が好きなのは、ドーパントの体……」

アイム（ナースステイツ）「すみません、注射器ってどう使いますか？」

井坂「注射器い？それはだな、こういう風に刺して……」 伊達の尻に刺す

伊達（〇〇〇）「おふうん！？」

アイム（ナースステイツ）「なるほど、そしてこうですね！？」
押す

伊達（〇〇〇）「痛い痛い痛い！！……でも少し快感かも」 何かに目覚めた

セイギ（ファンタ）「エリカにナース服……」

弦太郎「思春期万歳！」

竜也「はいはい……」

【MAGIC・HAND】

影山「大変だ兄貴！！サツがそこまで……！！」

矢車「何だって……！？」

浅倉「北岡はどこだあああああああ!!」

アイム(婦警ステイツ)「警察です!!貴方達を不法侵入兼恐喝罪で逮捕します!!」

地獄兄弟「グフーツ!!」 鼻血

浅倉「ブーツ!!」 鼻血

アイム(婦警ステイツ)「はい、御用です!!」 逮捕した

アホ3人「」「」 気絶

竜也「(ユウリにもやらせたい……!!)」

セイギ(ファンタ)「『大の大人が何考えてんだ?』」

【CAMERA】

アイム(ウエディングステイツ)「してダーリン」 お姫様抱っこ(してる)

賢吾「ごめんなさいアイムさん、俺が病弱なばかりに……」 お姫様抱っこ(されてる)

ブレンダン「おめでとうリーダー……」 泣いてる

ナギサ「花嫁姿か……」

メズール（人間態）「人間の結婚式も良い感じね」

お市「どうでも良いわ、市と長政様の仲以外はね……」

カメラさん「じゃあ撮りますよー!!」

制裁組「……あつ、はい……」

セイギ（ファンタ）「なんだ、コスプレ写真か……」
この頃には制裁組に居なかった

竜也「仕方ない、高校生で結婚出来る訳がない」

【PARACHUTE】

ゴーカイジャー（制裁組）「……豪快チェンジ!!」

【アアアアバレンジャーアアアア!!】

Gアバレンジャー（制裁組）「……爆竜戦隊、アバレンジャ

ー!!……」

ゴーカイR「アバR（賢吾）……って、アイムさんなんですかそれ?」
ティラノ

ゴーカイP「アバレP「えっ……はっ!?何ですかこの格好……!」
手作り感丸出しの格好

ゴーカイB「アバレB（ブレンダン）「アバレピンクって、ただのコスプレですか」
トリケラ

ゴーカイY＝アバレY（メズール）『どうりでそのレンジャーキーが手作りっぽいのね』 プテラ

ゴーカイG＝アバレB r（セイギ）『でっ、でも可愛いですよ!？』
ブラキオ

ゴーカイS＝アバレK（ナギサ）『こっ、これがアバレキラーなのか!？』 トウプクスアラ

セイギ（ファント）『……ハカセさんになった気分でした』

弦太郎『なる』

【CHAIN - SAW】

アム（ドラ娘ステイツ）「貴方の血を吸わせてください」
参照はマジレンジャーのナイとメア

ドラ子 ドラキュラ娘を意味する

男子「「「「ゴッフーツ!」」」」 壮大な鼻血

乗客員『「「ゴッフーツ!」」」 同じく

恭介「おっ、帰って……って何があった!?!?!?」

乗客員「「「
死にかけ

雑談014-1 アストロ アイム様!! (後書き)

作者「今日は」雑談014-2 その手で蘇生への道を掴み取れ!
!(By:スニーカーブラザーズのエルダー)」と2本立て、どっち
が面白かったかな!？」

【ラジカルスイッチ、ON!】

雑談014-2 その手で蘇生への道を掴み取れ!! (By:スニークブラザー)

【3・2・1】

【レエエエエエツ、ゴオオオオオ!!】

その他野次馬「「「「「キラーン!」」」」」

凱「……で、ああなっている訳か。俺は一回地上に行ったから良いが……」

レイカ「てか、最後のおっさんってあんなに変態だったっけ？」

マリア「仕方ないわよ。あの人の師匠が、キャストのエステ項目に”美尻設定”をGRM社に要請するほどのドスケベだったんだから……」

エリック「ハハハ……」 頭にオウガテイルが噛み付いている

オウガテイル『ガウウ……（訳：マズイ、マズイのに歯が深く刺さって抜けないよう……）』

バンドーラ「御主！何かが噛み付いてるぞ!？」

エリック「いやあ、華麗な僕がオウガテイルに頭に噛み付かれて即死したからねえ……。しかしBURSTでは”追憶のエリック”として出られたから嬉しいんだよ。ハハハ……」

ロン「そういえば、来年辺りに”GOD EATER 2”が発売されるじゃないですか。アニメ調だった今までからまあF みたいになって……」

エリック「死人の僕が出る訳無いんだからその話は止めたまえ」

レイカ「そういえば、あんた予選に出てなかったっけ？」

エリック「勿論ボロ負けさ、ハハハ」

ケガレシア「確か今は、決勝戦の”サバイバル”！最後まで走っていれば優勝だレース”だったでおじゃるな。10秒以上休んだら失格の……」

アバレキラ・A^{アバレ}モード『爆竜チェンジ!!』 変身した

【UTOPIA】

ユートピアD『この適合率98%のユートピアに勝てますかねえ！？』 ナスカメモリにパイロキネシス

霧彦「あつ、ナスカメモリが!!責様っ!!」 ユートピアDに掴みかかる

ユートピアD『黙りなさい尻彦君』 霧彦の希望を奪い取る

霧彦「ウワアアアアアアアアアア……」 のっぺらぼうに

ユートピアD『……ふん!!』 信長の希望も奪い取る

織田「ああああああアヘンンンンン……」 のっぺらぼう

ヘルガ「その甲冑男!!あんたを潰してやるわよおおおおお
おおおお!!」 ダルク・ファキス(第1形態)になった

賢「……ダルク第1形態って、下半身が地面にあるからその場から動けられないよな？あの女、それを知らずに墓穴に突っ込んだな」

一同「「「「「あつ」「」「」」」」」

ダルク第1形態『アツ、アレ！？ウゴケナイ！！』

ユートピアD『馬鹿が……』 嘲笑う

琉兵衛「霧彦君に織田君にヘルガ君、君達は10秒以上休んだから失格だ。残念だよ、家族が減ってしまうのは……」 審判

京水「あらやだイケメン、私がモーレッツに抱きしめてあげるわ！！」
タクティモンに抱きついてる

タクティモン『バグラモン様ああああああ！！助けてえええええええ！！』 泣いてる

剛三「てか京水の奴、あれで休んでいる扱いにならないのか？」

マリア「園咲琉兵衛に見られてないからじゃない？タクティモンって（ダルク除いて）一番デカいんだし」

タクティモン『離れろおおおおおおお！！』 京水を引

つ剥がす

京水「イヤン痛い！！太陽に代わってお仕置きよ！！」
ルナメモ
り取り出し

【LUNA】

ルナD「カニ挟み、ヒーホー! ルドオ!!!」

タクティモンにプロレス技

タクティモン「アアアアア！」逃げた

ルナD「逃げたわねえ？刀振り回して、刃物は絶対ダメ！！」

再びプロレス技

タクティモン 「いやあああああああああ！！」

泣き叫んだ

琉兵衛「その2人も失格な」

ロン「そう言えば、人数が半以下になったら最終兵器が出ると聞きましたか……」

バンドーラ「最終兵器い？なんじゃそれは？」

鎌田「ハハハハハハハハハハハハハハハハハハ！私に倒されて全滅したら私が黄泉の心臓を手に入れるんだあああああ！」

笑顔で襲いかかってくる（しかもメツチャ速い）

参加者「」「」「」「」
なんだあれええええ！？」

鎌田「鎌田キイイック!!」 跳び蹴り

ダルガン「リシオオオオオオオオオオオオオオ!!」 やられた

鎌田「鎌田パアアーンチ!!」 ただのパンチ

アイーシャ「コスムウウウウウウウウ!!」 やられた

鎌田「鎌田シザアアース!!」 ただの大跳躍クロスチョップ

ブラジラ「オゲエエエエエエエエエエエ!!」 翼もつて
かれた

一同「「「「鎌田強つ!!」」」」

ロン「だって4話しか出てませんからねえ……」

ユートピアD「貴方の希望を頂きますよ!!」 鎌足と格闘

アビス「ハッハッハッハッ!!」 変身した鎌足

【STRIKE VENT】

アビス「鎌足アームハンマー!!」 名前はハンマーなのにアビス
クローによるストレート

ユートピアD「ふん!!」 サイコネシスで受け止め

アバレキラ「ウイングペンタクト!!」 サザンドラを描いた

Aサザンドラ『クエエー!!』 実体化

アバレキラ『“破壊光線”!!』

Aサザンドラ『クエエエエエエエエエエエエー!!』 破壊光線
放った

ユートピアD・アビス『おげええええええええええ!!』 やられた

琉兵衛「優勝は、仲代壬琴君だな」

現世 病院

賢吾「……だから生き返ったのか」

壬琴「仕事にも復帰したさ」 黄泉の心臓で復活

雑談014-2 その手で蘇生への道を掴み取れ！！（B Y：スニークブラザー

作者「今日は」雑談014-1 アストロ アイム様！！」と2本立て、どっちが面白かったかな！？」

賢吾「アイムさんの話は変態が涎を垂らしているだろうな」

【ラジカルスイッチ、ON！】

雑談015：Nの再来／婿養子と不倫相手と仕事上の関係と（前書き）

【3・2・1】

シャウト「スツウツパァ ラジカルツ タイツム」

マーベラス「派手に！」

弦太朗「キッ」

??「そおい!!」

シャウト・マーベラス・弦太朗「「ギャーッス!!」」「」

【レエエエエツッ、ゴオオオオオ!?!?】

雑談015：Nの再来／婿養子と不倫相手と仕事上の関係と

霧彦「やあみんな。初めましての方もいるかな？自己紹介をすると、僕は風都をこよなく愛する男、風都一のガイアメモリセールスマン、そして園咲家の長女”園咲冴子”の自慢の夫でもあり自慢の婿、園咲霧彦だよ。全国のお婿さんを元氣付けたのも僕さ」

カイン「なっ、お前は誰だ！？何故私に似ている！？」 中の人
が霧彦と同じ人だからです

霧彦「……お前は、僕だ」

カイン「ウワアアアアアアアアアアアアアアアア！」 霧彦に吸
い込まれる

霧彦「……ふう、さて

どうにも僕が死んでから、風都で色々な事件が起きているんだ。氷
結事件や二度と目覚めない事件、更には風都タワーの崩壊だなんて
……！！ガイアメモリは未成年者には売らないって決められている
のに……！！

とにかく、このままでは死にきれない！！だからこうして生き返っ
たんだよ。今日のラジカルタイムは僕が主役だからね！！

とはいえ、今日は僕が主役なんだから人選の主導権も僕の勝手。な
ので、今回は最低限のキャラ以外は出ません！！」

友子「貴方、何がしたいの？」 最低限のキャラ

霧彦「だから言ったじゃないか、今日の主役は僕だって。この日のために、折角あの世から蘇ったんだよ？今更”帰れ！！”だなんて言われても僕が満足しない限り帰らないよ

さあ、僕のパーティータイムの始まりだ！！」

霧彦の部屋のセット

霧彦「実はこの話、どれだけ少人数でどんな話題が出るのかという意味でも、挑戦的な意味でやるんだ」

友子「何故私が……？」 今回（10/16）の一等賞だからです

ふうとくん『……』 堂々と一服中

霧彦「……始める前に、先ずはやらないといけない事が出来た……

馬鹿者っ！！」 ふうとくんにタツクル

ふうとくん『！？』

霧彦「ふうとくん、他人様の前で一服するなんてどういう考えなんだい！？此処には高校生がいるんだよ！？てか、お父さんは君を喫煙者にした覚えは無いよ！！今の姿を見たらお前の事が大好きな雪絵叔母さんがどれだけ悲しむか……」 ったく、君は風都のマスコットキャラクターとして、アイドル気取りなんかにならず、コツコツと地道に風都の為になるように仕事をするんだよ！！」 スーパー説教タイム

ふうとくん『……』 落ち込んでいる

友子「……流石、風都のマスコットキャラクター”ふうとくん”の生みの親兼風都検定1級所持者だけはあるわ。風都に関して無駄に暑い、暑苦しい……」

霧彦「ふうとくんの説教は後にして、実はだね……」

??「おやあ？尻彦君の分際で少し調子に乗ってないかね？」

??「全くです。私、ゾツとします」

霧彦「……誰だ！？僕の主役回を邪魔する奴は誰だ！？」

「園咲若菜の”N a t u r a l l y”より

友子「……」

井坂「やあ諸君。私はドーパント開業医、井坂真紅郎。ドーパントの肉体に目がない医者ですう〜ジュルリ！」 口周りを舐める

加頭「財団Xの、加頭ですう〜。尻彦君またお会い出来て嬉しいですが、うつとおしいので帰って下さいよ〜」 霧彦を指差す

上記の2人の台詞は”N a t u r a l l y”を歌いながら話していると思っして下さい

霧彦「きつ、貴様等は！！私の妻に纏わりついてた奴等ではないか！！特に井坂真紅郎、貴様は私のガウンを着たり義理父さんに髭

を剃ってもらったり（まあ私はバーバー風で剃ってもらうが）、拳
げ句の果てに私の妻と2度も接唇した……！！何しに來たのですか
！？今回は私が主役ですよ、こうやって天使の輪を付けていたり！
！」 頭上には天使の輪

井坂「だから何だ！？私なんかね、こうやって來たんだよ……！」
死装束に三角巾。因みに霧彦のガウン着てる

加頭「御2人共、まだまだですね。私はコレですから」 リンシー
帽被りながら紅茶を啜り

霧彦「おや加頭さん、貴方はそんな程度なんですkアツチー……！」
熱い紅茶をかけられた

加頭「君みたいに冴子さんに見限られた男よりはマシですよ。てか、
貴方はガイアメモリトップセールスマン、井坂さんはドーパントの
開業医、貴方達は私を誰だと思えますか？」

井坂「そりゃあ、あれだ。白い詰襟の似合う微笑みの貴公子だrア
ツチー……」 自分の紅茶をかけられた

加頭「ミュージアムのスポンサーですよ！？それだけではなく、仮
面ライダーWのラスボスを飾り、更に仮面ライダーエターナルにも
出演、ユートピアドーパントだけでなく仮面ライダーエターナルR
Fにも変身、まさにスポンサー特権……！」

霧彦「しかし貴方達は映画に出ていないじゃないですか……！この3
人の中で唯一映画に出た（MOVIE大戦2010）仮面ライダー

W ビギンズナイト”編)のは僕だけですよ!!」

井坂「私は……」 詰まった

霧彦「てか、コレ僕のガウンじゃないですか!? 何堂々と着てるんですか!?!」

井坂「触るな触るな汚い前足でもう……!!これはな、冴子君に愛された証なんだよ! 君みたいに妻に裏切られるようでは、まだまだだなっと」 くつろぐ

霧彦「全く貴方って人は、TV版31話・32話で本物の奥さんと(同じシーンに出ていないとはいえ)共演したクセに……!!」

本物の奥さん 31話・32話に出てきたゾーンドーパントの人

友子「ふうとくん……素晴らしいわ……フッフッ」 ふうとくんを触りまくる

ふうとくん『……』

霧彦「実はですね、新しいふうとくんのキーホルダーを考えたんですよ。その試作品がコチラです」 新しいふうとくんキーホルダーを見せるが……

井坂「新しいキーホルダー? 普通通りではないか」

加頭「一体何処が新しいんですか?」

霧彦「名前がですよ。このキーホルダーの名前はですね、”ふうとくんのようであうとくんじやない、でもよく考えればやっぱふうとくんキーホルダー”何ですよ!!”

加頭「……貴方は馬鹿ですか？」

井坂「流石、尻彦だけはあるな。”ふうとくんのようであうとくんじやない、でもよく考えればやっぱふうとくん”って、結局はただのふうとくんじやないか」

霧彦「何だと！？僕の侮辱は構わないが、ふうとくんの侮辱は許さないぞ!!”

【NASUKA】

井坂「ドライバーにはつか頼る尻彦が、直挿しの私には適う筈がない!!”

【WEATHER】

加頭「おや尻紅郎さん、悪いですが勝のはこの98%の適合率のユートピアに決まっていますよ」

【UTOPIA】

婿S『『ウオオオオオオオオオオオ!!”』』

ナスカD『風都の栄光は、僕が守るんだあああ!!” 加速能力

ウエザード『どんなに素晴らしいメモリでも、使う人間が虫むしけらでは意味が無い!!” 雷雲発生

ユートピアD『気味の悪い化物共め、地の味をじっくりと味わうがよい!!” サイコネシス

ふうとくん『!?!?!?』 あたふたあたふた

友子「……貴方、その頭の風車は回るんでしょう?それで彼等をどうにか出来ないかしら?」

ふうとくん『!?!?!?!?!』 頭の風車を回す

ナスカD『……ん?ああ……』

ウェザーD『……気持ちいい』

コートピアD『疚しい気持ちが浄化される……』

婿S『『コレが風都の風が、良い風だ……』』

ふうとくん『?!?!』 回転速度が速くなる

ナスカD『おっ、パワーアップかふうとくん!』

ウェザーD『しっ、しかし……!』

コートピアD『少し強いのでは……!』

ふうとくん『?!?!?!?!?!』 回転速度がリミットブレイク

ウェザーD『ちよつ、凄い強すぎじゃないか!?!』

ユートピアD『これでは、私達は吹き飛ばされてしまう……!?!』

友子「キヤーっ!」 吹き飛ばされそうになる

ナスカD『ふつ、ふうとおおおおおおおお!?!』 吹き飛ばされた

婿S『『ふうとおおおおおおお!?!?!?!』』 たまたま通りかかったUFOに連れてかれた

ふうとくん『!?!』 散らかっているセットに驚く

友子「あつ、UFO……」

雑談015：Nの再来／婿養子と不倫相手と仕事上の関係と（後書き）

後書き劇場

友子「人気投票とは違うけど、今回の三人の取り巻き（霧彦・井坂・加頭）の中で”ダメだろ”と思ったキャラを募集しているわ。一番投票が多かったキャラには、歌星賢吾の”歌星流・モジュールラッシュ110”の餌食になるらしいわ……フッフ」

マーベラス「……」 体育座り

弦太郎「……」 体育座り

シャウト「……」 体育座り

公麿「……次回貴方達活躍するから良いじゃないですかったく」

【ラジカルスイッチ、ON！】

特別企画001:Let's GO!必殺技(前書き)

【3・2・1】

【レエエエエツ、ゴオオオオオ!!】

特別企画 001: Let's GO! 必殺技

弦太郎「第1回チキチキ必殺技コンテスト」オ!!」　　「ワァッて叫んで」と書かれたカンペ持ち

一同「『ワァ……』」　　棒読み

賢吾「如月、貴様は何がしたい？返答次第では、その古臭いリリースント擬き、燃やすぞ？」　　ヒーハックガンの銃口を弦太郎のこめかみに当て

弦太郎「……すみません」　　謝った

マーベラス「でもまあ、必殺技は大事だよな」

弦太郎「キャラクターにはそれぞれ必殺技がある。格好いい技、面白い技、凄まじい技、中には惨い^{むご}技だってある。このコンテストは、キャラクターの潜在能力を引き出し、個性を尊重するコンテストでもあるんだ！つい最近でも例えば

- ・フライング・ケツタッチ（シャウトIIバスコ）
- ・レッド・オーバー・キル（キャプテン・マーベラス）
- ・取り巻きダブルキック（佐久間珠恵&繁野ジュン）
- ・歌星流・ドリル折檻（歌星賢吾）
- ・JAXAウルトラダイビングボンバー（城島ユウキ）
- ・チャラ男ガード（JK）
- ・アメフトタックル（大文字隼）
- ・ファミーユ デストラクション（アイム・ド・ファミーユ）
- ・サスペンダーハリケーン（大杉忠太）

みたいに……」

マーベラス「待て、下から2番目は何だ!？」

賢吾「……あれか」 指差す

アイム「うふふ……」 スゴーミンにアイアンクロー

スゴーミン『ギャアアアアアアアアア……』

ゴーミン『……』 白旗掲げ

マーベラス「……そして最後のは何だ!？」

シャウト「あれだ」 指差す

田な……大杉「我がサスペンダーの錆となれ!!」 サスペンダー
を取り出し

マスカレイドD『何コレ!?!』 サスペンダーに捕まる

大杉「」サスペンダーハリケーン”!!」 早い話オクトバニッシ
ユ(但しタコ足ドリルが無いので実質普通に両足キック)

マスカレイドD『アーツ!!』 喰らった

マーベラス「スゲー……」 鳥肌立つ

弦太朗「なっ、必殺技が出来ただけであんなにキャラが成り立つんだよ」

シャウト「仮面ライダーやデジモンなんかは必殺技必要だし、今回は流石にやるべき……か？」

ダイスオー風にやります。因みに被害を受けるのはマスカレイドDです

？歌星賢吾の必殺技

賢吾「ぶつとばす……！！」 110アイコン

マスカレイドD『ヒッ！？』 怯える

賢吾「……！！」 レーダーモジュールでロックオン、ランチャーモジュールでミサイル発射

マスカレイドD『ギャアアアアアア！！』

賢吾「おらぁ！！」 ロケットモジュールで飛行、ドリルモジュールでドリルキック

マスカレイドD『オゲゲゲゲゲゲ！！』

賢吾「せいやぁ！！」 チェーンソーモジュールで切り裂き攻撃

マスカレイドD『ちよっ、おまつ』

賢吾「だあああー!!」マジックハンドモジュールで投げ飛ばし、ホッピングモジュールで大ジャンプ

マスカレイドD『ウワアアアアアア!!!』

賢吾「」歌星流・モジュールラッシュ110”!!」ビリーザ
ロッドで100億ボルトブレイク

マスカレイドD『ギャアアアアアアアアアア!!!』爆発

賢吾「……貴様の無様な姿、よく見ておきな」パラシュートモジュールで着地、カメラモジュールで撮影

マーベラス「（ガクガクブルブル）」

弦太朗「（ガクガクブルブル）」

シャウト「（ガクガクブルブル）」

【ファイヤ〜ON】

賢吾「コレで満足だろ、如月!」ヒーハックガン構えて

3人「うんうんうん!!スッゴい分かりました!!だから撃たないで!!」

?ゴークイレッド（キャプテン・マーベラス）の必殺技

ゴーカイレッド『全スーパー戦隊の赤き戦士よ、俺に力を貸せ！！』
アカレンジャー・スピードエース・バルイーグル・レッドフラッシュ・レッドホーク・レッドレーサー・ガオレッド・ボウケンレッド・ゴセイレッド・ゴーカイレッドのレンジャーキーを宙に投げ、
ゴーカイサーベル5本とゴーカイガン5本に挿す。因みに110アイコン

マスカレイドD『なっ、何だ！？』

ゴーカイレッド『”ゴーカイー！！” ゴーカイガン5本発射後、ゴーカイサーベル斬撃波×5を放つ

【ゴオオオオオレンジジャアアアア！！ジイイイヤツカアアアアア！！サアアアアンバルカアアアアア！！フラアアアアアシユマアン！！ジエエエエツトマアン！！カアアアアレンジャアアアア！！ガアアアアオレンジジャアアアア！！ボオオオオオケンジャアアアア！！ゴオオオオオセイジャアアアア！！】

マスカレイドD『うおうおうおうおうお！！？』 アカレンジャー・スピードエース・バルイーグル・レッドフラッシュ・レッドホーク・レッドレーサー・ガオレッド・ボウケンレッド・ゴセイレッドの幻影が順番に攻撃

【ゴオオオオオカイジャアアアア！！】

ゴーカイレッド『オールレッドスクランブル”！！” ゴーカイサーベルで斬る

マスカレイドD『ギャアアアアアアアアア！！』 爆発

ゴーカイレッド『この星も中々の物だな！！』

シャウト「ジョーの”五刀流・ブルースラッシュ”みたいだな」

弦太郎「シビレルぜ！！」

？シャウトの必殺技 その1

シャウト「俺に力を！！」 マイクに渾身の一撃を溜め、殴る。因みに110アイコン

マスカレイドD『ぐっ！！』

シャウト「ゴークイチエンジ！！」 ゴークイレッドに

【ゴオオオオカイジャアアアア！！】

【ファアアアアイナルウェイイイイイブ！！】

ゴークイレッド（シャウト）『レッドレイジ”！！』

技の詳

細なモーシヨンはダイスオーで確認して下さい

マスカレイドD『ギャアアアアアアアアア！！』

爆発

その2

前半は同じなのでカット

シャウト「変身！！」 OOOドライバー使用

【コブラ！！カメ！！ワニ！！】

【ブッラッカ〜ワニッ】

各コンボ毎に変化しますが、今回はブラカワニで代用します

【スキヤニングチャージ！！】

OOOブラカワニ『ワーニングライド”オ！！』 地滑り+ワニレッグ挟み

マスカレイドD『ギヤアアアアアアアアアア！』 爆発

弦太朗「確かこの技名は……」オーズ&ゴーカイジャー ダブルヒーロークラッシュヤー 2011 SUMMER”だったな。何だかコイツもシビレル必殺技だな！！」

マーベラス「チェンジ・ザ・メダルズと被らないのか？」

鎧「説明しよう！」チェンジ・ザ・メダルズ”とは、ガンバライド006弾のキャンペーンカードの必殺技！000が必殺技を放った後、アंकさんが000にコアメダルを投げる！！そしたら000は投げたコアメダルのコンボにチェンジし、そのコンボの必殺技を放つんです！！例えば言えば

サゴーズコンボのバゴーンプレッシャー（正しくはサゴーズインパクト）後 アंकが青いメダルを投げる シャウトコンボに変身、そしてオクトバニッシュ

みたいな感じに！！」

賢吾「今の必殺技で言えば

シャウトがマイクで敵を殴る（＝ラウディロッカー） ゴーカイレッド、もしくは000各コンボに変身 各ヒーローの必殺技を放つという事になるな」

？如月弦太朗の必殺技

弦太朗「やっべえ遅刻だあ！！」 自転車全力でこぎ

マスカレイドD『ばぼっ！？』 ひかれた

弦太朗「おらあ！！」 チョーク全力投球

マスカレイドD『びばっ！！』 眉間に喰らう

弦太朗「うおおおお！！」 全速力で走る

マスカレイドD『あばん！！』 ぶつかる

弦太朗「うおっ！？」 デッキブラシを振り回しながら滑った

マスカレイドD『ちょーまっは！！』 デッキブラシを喰らう

弦太朗「さいならっ！！」 自転車を全力でこぐ

マスカレイドD『……』 下敷きに

大杉「如月ーっ！！」 サスペンダー振り回しながら追いかける

マスカレイドD『 屍

マーベラス「……何コレ？」

シャウト「ライダー全力ハイスクールライフ”だつてさ。 学校生

活のように青春を謳歌するが敵を巻き添えにしているっていう、ライダー関係ないけど」

賢吾「確か作者がガンバライド必殺技コンテストにコレを送ろうとしてたな。応募方法が分からなかったから結局無理だったが」

弦太朗「必殺技は最高だな！」

マーベラス「好評だったらまたやるそうだけど？」

賢吾「俺はもういい」

シャウト「疲れた……」

特別企画001:Let's GO!必殺技(後書き)

公磨「ヒーハックガンはネタバレになりますよ?」

賢吾「あれは緊急措置だ」

【ラジカルスイッチ、ON!】

雑談016：本気で笑わせに行ったらこうなった小ネタ（前書き）

【3・2・1】

【レエエエエツッ、ゴオオオオオ！！】

雑談016：本気で笑わせに行ったらこうなった小ネタ

＼TAKE1 賢吾バクハツ！＼

賢吾「……」 黙々とアストロスイッチ調整中

弦太朗「ちーっす賢吾」

賢吾「」 タイプミス

マーベラス「邪魔するぜ」 ドヤ顔

シャウト「邪魔するぜ」 ドヤ顔

【フラッシュON】

賢吾「俺に話しかけるなあ！！」 フラッシュモジュールで殴る

マーベラス・シャウト「理不尽！！」

弦太朗「ギャーッ！！」 光をモロに喰らう

＼TAKE2 ハカセバクハツ！＼

ハカセ「今日の夕飯は肉じゃが」

マーベラス「俺はカレーだ」 ドヤ顔

ハカセ「いやっ、だから肉」

ジョー「手羽先な」 ドヤ顔

ハカセ「だか」

ルカ「お鯨よ」 ドヤ顔

ハカセ「ちょ」

アイム「私はお鯨よりもお刺身で」 ドヤ顔

ハカセ

鎧「お好み焼きにしましょう」 ドヤ顔

ハカセ

ナビィ「良い燃料宜しくね」 ドヤ顔

h

マジドラゴン・パストライカー・ガオライオン・バリブルーン・
風雷丸「『『『』とりあえず出番』』』」 ドヤ顔

マッハルコン「活躍」 ドヤ顔

……

【ラアアアアイジング、ストラアアアイク!!】
ハカセ「うわああああああああん!!」 肉じゃが
鍋頭にゴーカイガレオンバスター発砲

一同「『『ハカセテメエエエエエエエエ!!』』」 爆散

エミリア「チエルシーどうしたの？深い溜め息して」

チエルシー「あらエミリア、クレーム対応ね。依頼人が”お宅の社員、無愛想で何か怖い”って言われたのよ。タクミちゃん、腕は良いんだけどちょっと怖いからね」

エミリア「あゝ……、アイツは元からあだからね。今日も原生生物相手にインブラ無双だったわ」 インブラⅡインフィニティブラストの略

因みにタクミは、自分のマイキャラでブレイバーのデューマン男です。今回は出ません

チエルシー「ストレスを貯めるのは良くない事よ。ちょっとストレス発散させに行ってくるわ」 席を立ち

エミリア「行ったらっしやゝい……チエルシーのストレス発散って何だろう？」 ついて行け

~~~~~

惑星パルム      同盟軍本部

エミリア「……」      啞然呆然

チエルシー（同盟軍時代ステイツ）「カーツ大尉！貴様の声は、生まれたてのコルトバより劣ってるぞ！！」 鞭振り回しながらカーツの上に座り

カーツ「イエス・ママ！！」 四つん這いになり

チエルシー（同盟軍時代ステイツ）「声が小さい！！同盟軍ならもつと出せるだろうが！！」 カーツを叩き

カーツ「イエス・ママ！！（ハアハア）」 何かに目覚めた

チエルシー（同盟軍時代ステイツ）「貴様等もカーツ大尉の部下だろ！？だったらもつと腹の底から声を出せ！！」

同盟軍全隊員『『『イエス・ママ！！』『』『』』』

エミリア「……見なかった事にしよ」

く TAKE5 魔法少女カノンちゃんく  
カノン「みんなー！魔法少女のカノンちゃんだよー！今日も悪い人

がいたら、カノンちゃんの魔法の餌食になってもらっよう！」

ダルガン「ウツヒヨヒヨ！痴漢サイコー！！」 痴漢常習犯

カノン「早速発見！女性の臀部を片っ端から触りまくる変態親父がいやよ！早速魔法で懲らしめるよ！みんなで魔法の言葉を言ってみよう！せえの！

オラッ！喰らえ！！おんどりゃあ！！！！」 ブラスト発射

ダルガン「ギアアアアアアアアアアアアア！！」 喰らった

カノン「ふっ、豚が……！！」

＼TAKE6 デジクロスも計画的に＼  
タイキ「デジクロスだシャウトモン！！」

シャウトモン「よっしゃあ！！」

暫くして

タイキ「もう一度デジクロスだ！！」

シャウトモン「OK！」

また暫くして

シャウトモン「タイキ、超進k」

タイキ「デジクロスだ！！」

またまた暫くして

タイキ「シャウトモン！」

シャウトモン「超s」

タイキ「デジクロスだ！」

またまたまた暫くして

タイキ「デジk」

シャウトモン「待ってくれタイキ！超進化させてくれ！頼む！！」

タイキ「……分かった」

シャウトモン「タイk」

タイキ「超進化してデジクロスだな！！一緒に行くぞキリハ！！」

しつこいようだが暫くして

タイキ「デジk」

シャウトモン「進化させろーっ！！」 キレた

タイキ「デジクロス！！」 問答無用

シャウトモン「ザヨゴーツ！！」

結果

タイキ「デジk」

ネネ「やめたげてよお!!」

キリハ「可哀想だろう、もうよせ!!」

シャウトモン「……」 ただの屍のようだ。地面に”工藤タイキ”とダイイングメッセージ

＼TAKET ミカの原因＼

カヌハーン「……」 泥鰌掘いのような動き

ミカ「……」 ダディヤナザン

カヌハーン「……」 裸踊りのような動き

ミカ「……」 ナズエミテルンデイス

＼コレを5回繰り返し＼

カヌハーン「……よし、コレを後5セットで完了だ」

ミカ「確保お!!」 ミカボディブロー

カヌハーン「れつどたぶれつと!!」 気絶

＼＼

ミカ「……だから私は旧文明の復活を望んではいません! 私達は滅ぶべくして滅んだ……いやっ、滅ばなければならなかったのです! あんな物が流行る前に……!!」

エミリア「……うん、滅ばなければならなかったね」

雑談016：本気で笑わせに行ったらこうなった小ネタ（後書き）

マーベラス「俺、なんか損な役回りばっかだな」

弦太朗「元気出せよ、ダチを慰めるのも必要だ」

シャウト「ではまた次回」

【ラジカルスイッチ、ON！】



雑談017：病弱武人と宇宙御宅と王様野郎（前書き）

【3・2・1】

賢吾「最初に言っておく、今回は笑えないからな！」

【レエエエエツッ、ゴオオオオオ!!】

## 雑談017：病弱武人と宇宙御宅と王様野郎

ラビットハッチ

賢吾「ライダー部といえは！？」というアンケートを密かに行った結果、作者も思ってもいなかった奇跡が起きた。俺やユウキならともかく、何故貴方がいる？」　ビリーザロッドのプラグを抜き差し

隼「その前に、止めてくれないか？」　鼻の穴にビリーザロッドのプラグを抜き差しされてる。なのに何故かドヤ顔（参照：フォーゼ第1話”青・春変・身”にて名乗り時の表情）

ユウキ「そう言えば、アンケートの一位は今回の話をジャックするんだよね？結果は私と賢吾君、大惨じ……じゃなかった大文字先輩の同率一位で……何で主役であるまじき弦ちゃんに誰も入れないわけ？」

賢吾「奴は2011年度後期ラジカルタイムのナビゲーターだもんな。宇宙海賊やチビドラゴンと組んで、作者からは”ナビゲーター三馬鹿”とまで呼ばれてるからな。全く嘆かわしい」　高速でプラグ抜き差し

隼「お前だつて、制裁組を組んでるだろ」　高速で抜き差しされているのにまだドヤ顔

ユウキ「確かに、弦ちゃんと賢吾君と友子ちゃん以外は空気よね」

賢吾「寧ろ、このアンケートにもハブられた美羽とJKが可哀想だろ？」　クロックアップ顔負けの速度

隼「……まあ確かに」 鼻血出てるのにも関わらず、一切ドヤ顔を崩さない

ユウキ「って、大惨」……じゃなくて大文字先輩！！鼻血出てますよ！？」

隼「何……！？」 急いでティッシュを詰める

賢吾「どうする？どうせ今回の話は俺達がジャックしているんだ、このまま終わらせるか？」 ティッシュでプラグ拭き拭き

フォーゼ「……！！」 ハッチの外から窓ドンドン

ゴーカイR「メガR」……！！」 ハッチの外から以下省略

OOOタトバ強化体（仮称）「……！！」 ハッチ以下略

隼「うおっ！？何だあれ！？」 鼻ティッシュがポーン

ユウキ「ホラーッ！！」 フラシエキー落とす

【……………】 フォーゼがリーダースイッチをON  
賢吾「……」 アストロスイッチカバン開き

フォーゼ（通信）『頼む！！何でも良いから盛り上げt』 通信切られた

賢吾「視力の無駄だ」 窓を締め

三馬鹿『……！！』 ラビットハッチの窓が閉まったと同時に、そのまま吹き飛ばされ

ユウキ「賢吾君!？」

賢吾「安心しろ、恐らく5分経ったら何処かの馬鹿が脱いた大地の剣とレシラム・ゼクロム・ゴルグに乗った元凶が来る筈だ。ソレに任せればいい」

隼「ヒドっ!」

ユウキ「てか、普通に考えたらあのジャリボーイと元凶さんとその他ポケモン達、酸欠その他諸共で死んでるよね?明らかに成層圏越えてるし、宇宙服着てなきゃ死んでるわよ普通」

賢吾「元の大地に戻すとか、夢は夜にみやがれ……!」　さらつと

この後、本当に大地の剣が来たので、三馬鹿はそれで無事地球に辿り着きました。その際フォーゼが発していた言葉は「地球に辿り着いターツ!!」だった

ユウキ「来月には私達の映画が出るんだよね!楽しみ〜!」

賢吾「しかしユウキ、君は既に出てるじゃないか。レーダーの通信だったとはいえ、如月はともかく夏の映画に堂々とな」

隼「賢吾、お前もユウキと一緒に前作の最終回にも出ただろ。カメラスイッチを持ちながら堂々と」

賢吾「何を言う、あの時台詞は無かった!ユウキは映画で台詞はあったし!」

ユウキ「まあまあまあ！！とにかく、映画の情報を言い合おうよ！！」

賢吾「……そうだな

バガミールからの情報だと

・今回は5部作（始まり 仮面ライダーOOO ブリッジ 仮面ライダーフォーゼ MOVIE大戦MEGAMAXの順番）

・OOO側。本作オリジナルキャラの奏ミハルは、仮面ライダーポセイドン、仮面ライダーアクアの2つの仮面ライダーに変身。ポセイドンはサメ・クジラ・オオカミウオの3枚のコアメダルで変身する悪役ライダーだが、アクアは対称的に水を動力とする正義の仮面ライダー

・コアメダルやアंकが復活

・フォーゼ側。4人目の女性ライダー”仮面ライダーなでしこ”が登場。変身者は美咲撫子

・物語は財団X絡み、仮面ライダーWやレジェンドセブン（1号）ストロンガー）が登場

・OOOにタトバコンボ強化体（仮称）、フォーゼにWロケット（仮称）が登場

以上だ」

ユウキ「そういえばレジェンドセブンとして出てくるライダー、作者はつきりフォーゼ登場キャラ絡みかと思ってたんだってさ」

隼「何故だ？」

ユウキ「だって

- ・ 1号 ほんこうたけし 本郷猛 (並び替えると) うたはしけんこ 歌星賢吾
- ・ 2号 いちもんじはやと 一文字隼人 (一と人を合わせて) おほなな 大文字隼
- ・ V3 かざみしる 風見志郎 (並び替えると) かざしろみつ 風城美羽
- ・ ライダーマン けつじょう 結城丈二 (ゆうきじょうじ) (入れ替えた後に
- ”ま”を加え) じょうじま 城島ユウキ
- ・ X じんけいすけ 神敬介 (頭文字を振り) ジェイク JK
- ・ アマゾン アマゾン (本名：山本ダイスケ) 【AMAZON】
- (英語スペルを裏から読む) のやまともこ 野座間友子 【NOZAMA】

だから、ストロンガーは

- ・ ストロンガー じょうしん 城茂 (なんとなく似てる) しげの 繁野ジュン

だと思つてたんだつて。でも、V3に”珠純子”っていうヒロインと彼女の身内に”珠シゲル”が居て、サイドキックスはこの2つの名前から”佐久間珠恵”と”繁野ジュン”を分けた名前だという説があつて、結局ストロンガーは何なんだろうな……という考えがあつたみたいですよ?」

賢吾「……電波人間タツクルとか? 確か名前が”岬ユリ子”だったよな…… あつ、それは美咲撫子か」

隼「だからストロンガーが出るのか…… ん、なんだこれ?」一枚のハガキを見つける

ユウキ「あつそれ、前にマーベラスさんが来た時に一緒に来た人が置いていきました。何も、久々に会った相棒さんが”どうせだから”と貰ったハガキらしいですよ? 確か名前は……”江角走輔”だったけ?」

賢吾「何でドンドン人が来るんだ……！」　　嘆く

隼「……」　　ハガキを凝視

写真『この度元気な男の子を授かったので、結婚する事になりました！』　　スピードルとベアールVのカップル写真

……　　沈黙が走る

隼「……リア充爆発しろおおおおおおおお！！」　「消えちまえ、仮面ライダー部！！」の時の顔をしながらハガキを破る

ユウキ「大惨」……じゃなかった、大文字先輩！？」

賢吾「風城美羽を見限ったせいで彼女に愛想を尽かされ、広田玲子と付き合い始めたが直ぐにフラレ、結局今の惨事先輩はリア充にも非リア充にも行き着けない、中間だからな」

隼「天高のキングである俺に彼女は出来ないし、あるサイトではヘタレな様子や鼻の穴をネタにされた挙げ句、”惨事先輩”だなんて名前まで付けられ……結局俺の長所はダイザーの運転しかなくな

「っただよおおおおおおお!!」 その顔のまま泣き叫ぶ

ユウキ「大文字先輩……」

賢吾「……さて、作者がもうネタが尽きたらしいから帰るぞ」 帰る準備

ユウキ「ええっ!?! 空気読んで賢吾君!!」

隼「……そうだ、作者が”アームストロングキック”を見て思いついたあるネタを用意していた! よし、早速後書きで流すぞ!」

ユウキ「ええっ!?!」



雑談017：病弱武人と宇宙御宅と王様野郎（後書き）

【世界の破壊者 城島ユウキ】

月面

ユウキ『アームストロングキック』！』 きりもみ回転キック

フォーゼ『うおっ！？うあああああああ……』 地球へと  
真っ逆さま

ユウキ『ヤツバ、強すぎちゃった！！』

地球

ドレッド「流脈が見えた！！」 大地の剣を操縦中

ジャンタ「ドレッド、ちゃんと決めなさいよー！」

サトシ「ようし、もう少しだ！！」

フォーゼ『……ああああああああああ！！』 大地の剣  
を貫通、そのまま落下

一同『……』

ウヴァの亡霊『大変だ！謎のおにぎりが貫通した事によって大地  
の剣が真っ二つになったぞ！！』

一同『『『アーツ！！！！』』』

因みにフォーゼはパラシュートモジュールで無事に着陸した

ゼクロム『剣がーっ!』

レシラム『……ナイス貫通』 　　どうやらパニックで思考回路が狂った様子

ゼクロム『ナニッテルンディスカ!?!』

ドレッド「うわあああああああああああ……」

~~~~~

ドレッド「あああ!?!……っは、夢か……」

ジャンタ「ドレッドどうしたの!?!」 　　おにぎり持ってきて

ドレッド「ヒイツ!?!……おにぎり怖い宇宙怖いオタク怖い大地の剣怖いもつあのままでいいや……!?!」

カリータ「挫折したっ!?!」

完

ユウキ「……なにこれ?」

隼「お粗末様でした」

【ラジカルスイッチ、ON!】

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0083r/>

スーパーラジカルタイム 豪快DX!!

2011年11月26日18時47分発行